

**Hisense**<sup>®</sup>  
**液晶テレビ**  
**機能操作ガイド**

**32A30H**

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
この機能操作ガイドをよくお読みの上、正しくお使いください。

# 目次

目次.....	1	HDMI 連動 (CEC) 対応機器を操作する.....	31
共通の操作.....	2	インターネットを利用するための設定をする..	33
チャンネルを選ぶ.....	4	設定メニューについて.....	35
デジタル放送を楽しむ.....	6	設定メニューから設定をする.....	36
映像と音の操作.....	10	サブメニューについて.....	45
文字の入力のしかた.....	12	故障かな?と思ったら.....	46
番組の視聴予約をする.....	13	お問い合わせの前に.....	46
番組の録画、録画予約をする.....	14	原因と解決法.....	46
録画について.....	16	エラーメッセージが表示されたとき.....	51
動作確認済 USB ハードディスクについて.....	16		
デジタル放送の著作権保護について.....	16		
録画するときのご注意.....	16		
録画した番組を再生する、整理する.....	23		
録画番組をダビング (ムーブ) する.....	29		
接続した入力機器の映像を見る.....	30		

## 説明のしかたについて

- 本書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- 文中の太字は画面に表示される選択項目、カッコ付きの太字はボタン名を表しています。  
例)  
選択項目: **映像設定** / **機能設定** / **外部機器設定**  
ボタン名: [ **電源** ] / [ **入力切換** ] / [ **決定** ]

## アイコンについて

### ⚠️ ご注意

説明文中で、とくにご注意いただきたい点を説明する際に使用しています。重要な内容を含みますので、必ずお読みください。

### お知らせ

本機を快適にお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容を説明する際に使用しています。できるだけお読みください。



## アラームを使う

設定した時刻にアラームでお知らせすることができます。本機の電源が「待機」のときは電源が「入」になります。

- 1 [サブメニュー] を押し、**時計** を選択する
- 2 **アラーム設定** を選択して、[決定] を押す
- 3 [へ]/[v]/[<]/[>] で各項目を設定し、[決定] を押す

- **アラーム**: オン/オフ (アラーム設定を保存したまま一時解除) の設定をします。アラーム画面表示中は、[青] を押すごとに、オン/オフの切り換えができます。
- **日時**: アラームを鳴らしたい日時を選択します。
- **サウンド**: アラームの効果音を選択します。
- **音量**: アラームの音量を選択します。
- **チャンネル**: アラームでお知らせしたあとに、画面に映すチャンネルを設定します。

### お知らせ

- 本体の電源ボタンで電源を切るとアラームが働きません。リモコンの [電源] で電源を切ってください。

## アラームの動作について

設定した時刻に設定したサウンド、音量でアラームが鳴り、アラーム停止画面が表示されます。

本機の電源が「待機」のときは電源が「入」になります。

- [ < ] / [ > ] を押し、**停止** または **スヌーズ** を選択して、[決定] を押す
  - **スヌーズ**: 5分後に再度アラームが鳴り、アラーム停止画面が表示されます。スヌーズを途中で止める場合は、**終了** を押し、スヌーズ停止画面を表示させ、**はい** を選択して、[決定] を押します。

### お知らせ

- アラームを停止しないと、サウンドで選択した音が5分後に停止し、無音状態になります。さらに5分経過すると、再度選択した音が鳴ります。アラームを停止するまで上記動作を繰り返します。アラームで電源が入ったときは、何も操作をしない状態が1時間経過すると、上記の動作を繰り返したあと、自動的に電源が「待機」に戻ります。

## オフタイマー

本機の電源を切るまでの時間を設定します。

- 1 [サブメニュー] を押し、[へ]/[v] で**時計** を選択し、**オフタイマー設定** を選択し、[決定] を押す
- 2 [へ]/[v] で希望の設定 (**切** / **あと30分** / **あと60分** / **あと90分** / **あと120分**) を選択して、[決定] を押す  
オフタイマー設定中は、もう一度**オフタイマー** を選択して、変更することができます。

### お知らせ

- 設定後に本機の電源ボタンで電源を切ったり、リモコンの [電源] で電源を切って「待機」にした場合は、設定が取り消されます。

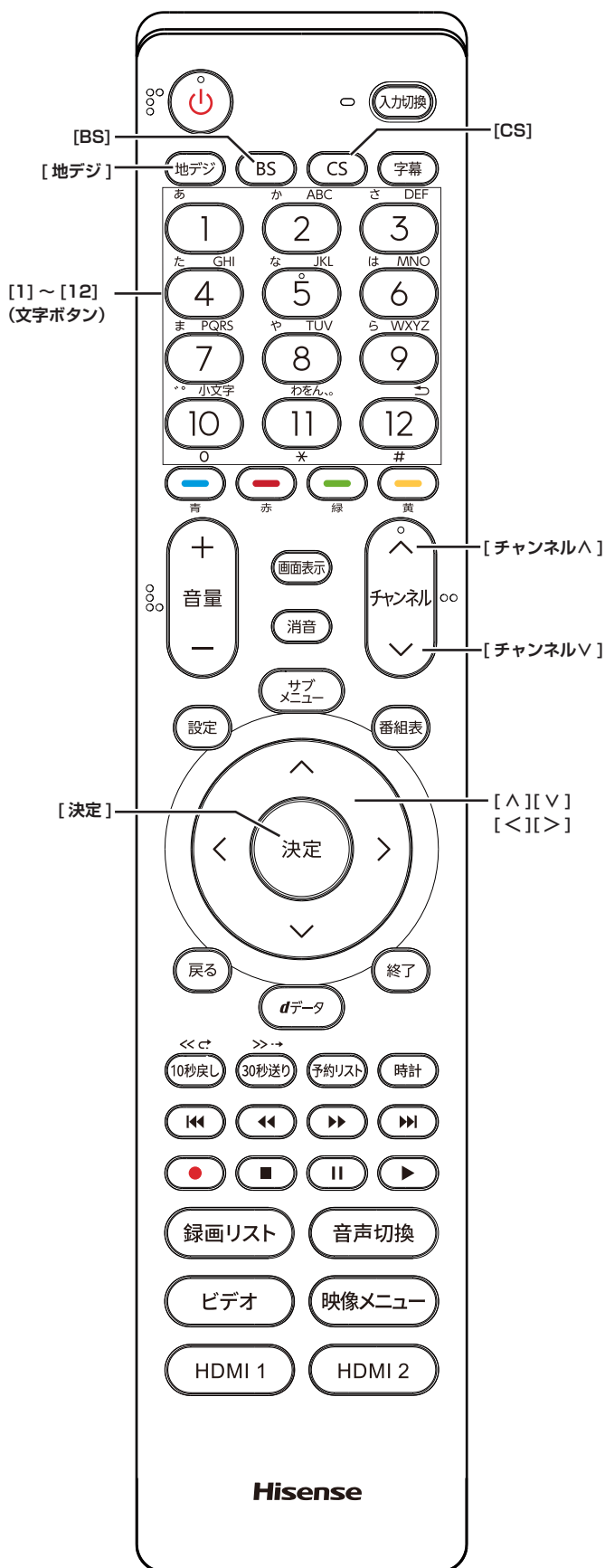
## 設定メニューについて

- [設定] を押すと、設定したい項目が表示されます。  
(☞ 35 ページ)

## サブメニューについて

- [サブメニュー] を押すと、設定したい項目が表示されます。  
(☞ 45 ページ)

# ● チャンネルを選ぶ



## お知らせ

- チャンネルを選んでから映像が切り換わるまでに時間がかかる場合がありますが、映像信号の変換などに時間がかかるため、故障ではありません。
- 放送の種類によっては他の機能が追加されている場合があります。この場合、各ボタンの機能はテレビ画面に表示されます。

## 放送を切り換える

- [地デジ]/[BS]/[CS] を押して放送の種類を選ぶ

## チャンネル番号で選局する

(ワンタッチボタン選局)

- お好みのチャンネル番号の [1] ~ [12] を押す

## お知らせ

- チャンネル番号は番組表で確認できます。
- [1] ~ [12] に好みの放送局を割り当てることができます。(▶ 43 ページ)

## 放送局番号で選局する

- 1 [サブメニュー] を押し、[△]/[▽] でその他の操作を選択し、チャンネル番号を入力を選択し、[決定] を押す
- 2 [△]/[▽] で放送の種類を選ぶ  
画面右上に放送局番号が入力できるようになります。
- 3 お好みの放送局の放送局番号を [1] から [10] までの数字ボタンを押して入力する  
[10] は「0 (ゼロ)」として使用します。

## お知らせ

- 放送局番号は番組表で確認できます。

## 選局ボタンで選局する

- [チャンネルへ]/[チャンネル▽] を押して選局する

### お知らせ

- 視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。  
(👉 43 ページ)

## BS デジタル放送のグループを指定して選局する

- 1 [BS] を押すと、選局ガイドが表示される
- 2 選局ガイドが表示中に、[BS] を押すと、選局ガイドに表示されるグループが切り換わる
- 3 お好みのチャンネル番号の**数字ボタン**を押す

### お知らせ

- BS デジタル放送は、グループ A (BS101 (NHKBS1) ~ BS222 (BS12 トゥエルビ)) とグループ B (BS231 (放送大学 ex) ~ BS265 (BS よしもと)) があります。

## 番組表から選局する

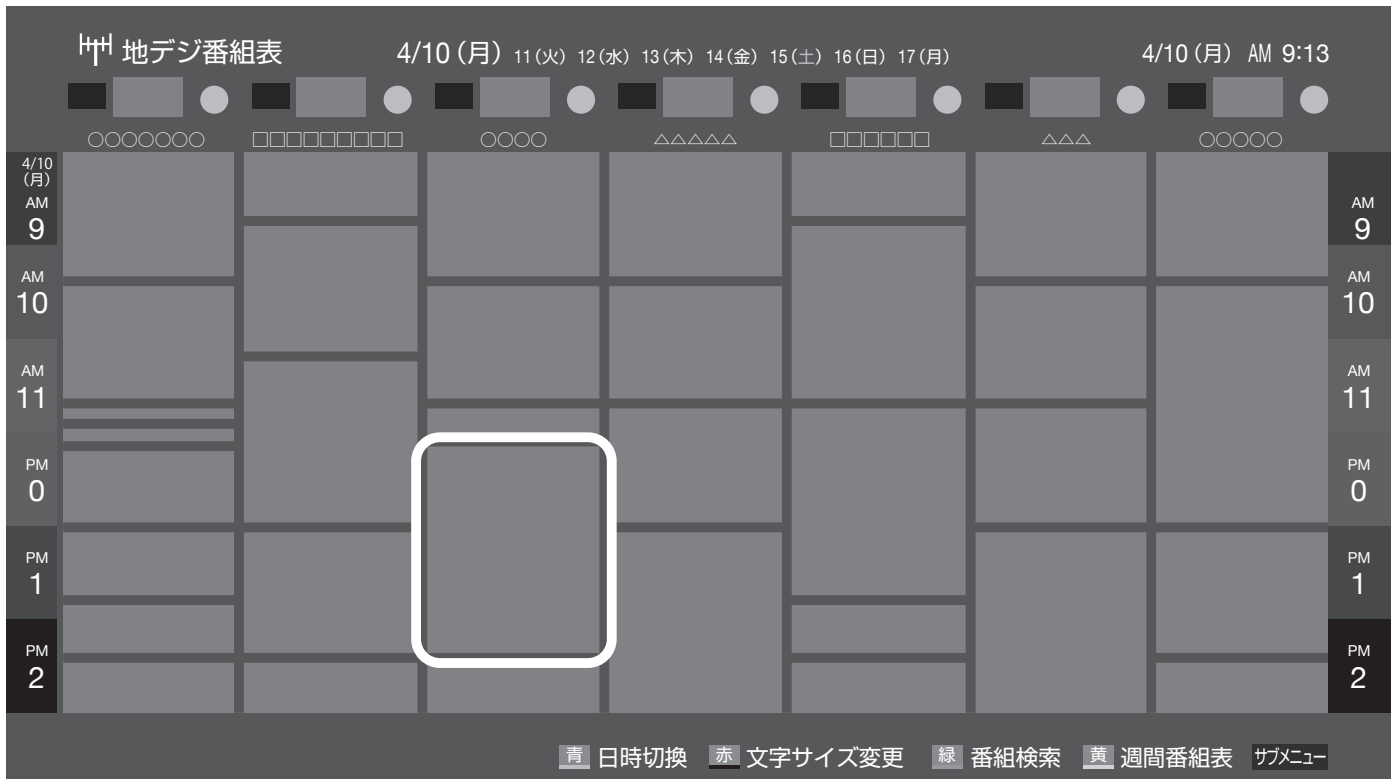
- 1 [番組表] を押す
- 2 [<]/[>] を押して現在放送中の見たい番組を選び、[決定] を押す
- 3 「番組指定録画」画面で、番組の内容が表示されるので、確認して**見る**を選択して、[決定] を押す

## 地上デジタル放送で枝番が異なる放送を選局する

地上デジタル放送では、お住まいの地域以外も受信可能な場合に、同じチャンネル番号が重複することがあります。この場合はチャンネル番号の次に付く枝番 (011-2 の「-2」など) で区別して選局できます。

- 「放送局番号で選局する」の操作をしたときに、枝番のついた放送一覧が表示されたときは、[△]/[▽] で放送を選択して、[決定] を押すか、[1] から [10] で枝番を指定する





## データ放送を受信する

- **[d データ]** を押す  
番組によっては押す必要がない場合があります。放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。
- データ放送を終了するには、**[サブメニュー]** を押し、**[^]/[v]** でその他の操作を選択し、**データ放送終了** を選択して、**[決定]** を押す

### お知らせ

- データ放送を行っているチャンネルでのみ有効です。
- **[^]/[v]/[<]/[>]** を押して項目を選び、**[決定]** を押して選択を確定することができます。
- データ放送画面から、さらに別の画面へ移行することができます。画面上に**[青][赤][緑][黄]**それぞれで、どの情報（天気予報、ニュースなど）へ移行するのかが表示されます。

## 番組をさがす

映画やスポーツ、新番組など、ジャンル別に番組を探すことができます。

- 1 番組表の表示中に**[緑]**を押す
- 2 ジャンル、キーワード、番組記号、日付、チャンネル、有料番組の条件を入力し、**検索開始**を選択し**[決定]**を押す  
検索結果が表示されます。  
(「文字の入力のしかた」[12 ページ](#))

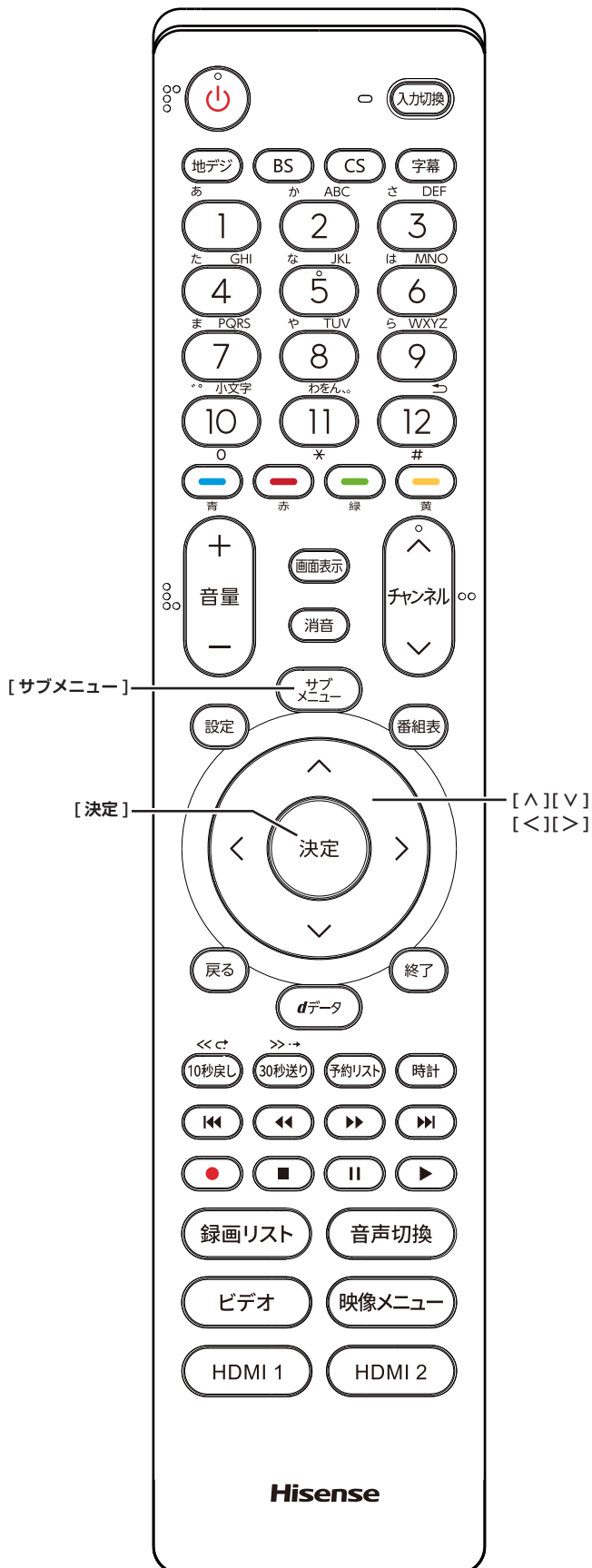
- **[黄]** を押すと、選択している番組の説明を表示します。
- 3 見たい番組を選択し**[決定]**を押すと、番組内容が表示される  
視聴予約や録画予約、連ドラ予約ができます。  
([13 ページ](#))

### お知らせ

- 番組表示中に、**サブメニュー** → **番組記号一覧**で番組表に使われている番組記号の意味を調べることができます。



# デジタル放送を楽しむ (つづき)



## 番組情報を取得する

番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新します。

- 1 番組表の表示中に [サブメニュー] を押す
- 2 番組情報の取得を選択して、[決定] を押す

### お知らせ

- 番組情報の取得中は映像、音声が出ないことがあります。
- 番組表で選択している放送局の情報が更新されます。(BS デジタル放送は番組表全体が、110 度 CS デジタル放送は選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が、地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます)

## 番組表の表示のしかたを換える

- 1 番組表の表示中に [サブメニュー] を押す
- 2 番組表表示設定を選択して、[決定] を押す

### ■ 表示チャンネル数:

9 チャンネル表示、7 チャンネル表示、6 チャンネル表示、4 チャンネル表示に切り換えることができます。

### ■ チャンネル並び順:

通常、チャンネルボタン優先に切り換えることができます。チャンネルボタン優先はワンタッチ選局ボタン [1] から [12] の番号順に並べ替えます。

### ■ 番組概要表示:

表示する、表示しないに切り換えることができます。

### ■ 地デジ表示:

視聴チャンネル中央表示、チャンネル順優先表示に切り換えることができます。

## 1 チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

BS デジタル放送や地上デジタル放送 (どちらもテレビ放送だけ) では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示 (1 チャンネル表示) とマルチチャンネル表示 (マルチ表示) に切り換えることができます。

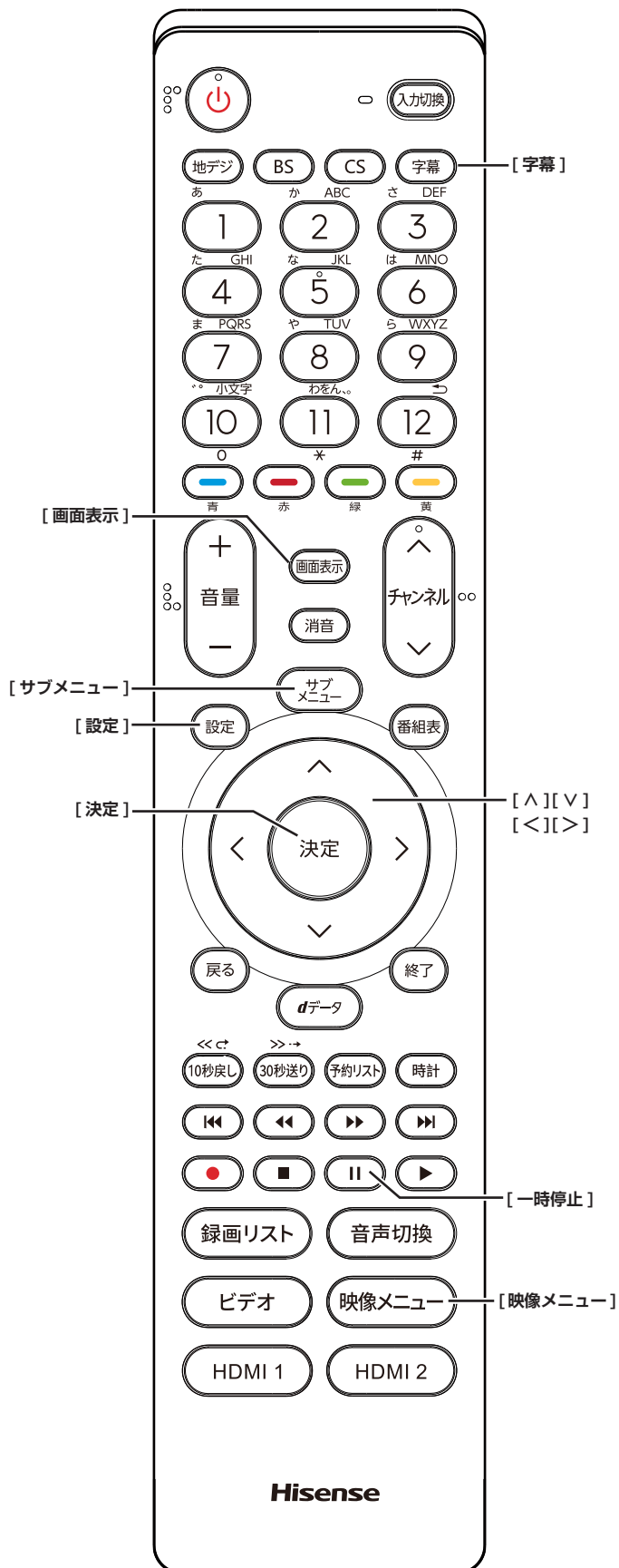
- 番組表の表示中に、切り換える放送局を選び、[サブメニュー] を押し、1 チャンネル表示またはマルチ表示を選択する

## ジャンル別に色分けする

番組のジャンル（分野）別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。

- 1 番組表の表示中に [サブメニュー] を押す
- 2 ジャンル色分けを選択して、[決定] を押す
- 3 [^]/[v] で設定する色を選択し、[^]/[v]/[<]/[>] でジャンルを選択して、[決定] を押す
- 4 設定完了を選択し、[決定] を押す

# 映像と音の操作



## チャンネル情報を表示する

チャンネル情報を表示させます。

- [画面表示] を押す  
もう一度 [画面表示] を押すと、表示が消えます。

## 画面サイズを切り換える

画面の縦横比をワイド、ズーム、フルの中から切り換えます。

- [サブメニュー] → 画面サイズ切換を選択して切り換えます。(👉 45 ページ)
  - ▶ が表示されたときは [ > ] を押すと、以下の切り換えができます。
    - ジャストスキャン：  
16:9 の映像が画面内に収まるように表示させます。
    - オーバースキャン：  
16:9 の映像を少し大きめに表示させます。

## 映像メニューを切り換える

- 1 [映像メニュー] を押す
  - 2 [ ^ ] / [ v ] を押し、ダイナミック、スタンダード、映画、ゲームのいずれかを選択して、[ 決定 ] を押す
- [設定] → 映像設定 → 映像メニューを選択して切り換えることもできます。

## 字幕の表示、非表示を切り換える

- 1 [字幕] を押す
  - 2 字幕を選択して、[ 決定 ] を押す
- [サブメニュー] → 字幕を選択して切り換えることもできます。(👉 45 ページ)

## 文字スーパーを切り換える

- 1 [設定] を押し、初期設定を選択して、データ放送設定を選択する
- 2 文字スーパー表示設定を選択し、表示する、表示しないを選択して、[ 決定 ] を押す (👉 43 ページ)

### お知らせ

- 字幕とはセリフを文字に起こして画面に入れ込むことです。文字スーパーとは、状況の説明（たとえばドアをたたく音など）とセリフを含んで、画面に文字を入れ込むことです。
- 字幕がオンでも、字幕のない番組や設定した言語の字幕がない場合、字幕は表示されません。文字スーパーが表示するでも、文字スーパーのない番組や設定した言語の文字スーパーがない場合、文字スーパーは表示されません。

## 放送中の画面を静止する

放送番組の視聴中に画面を静止させることができます。（音声は放送中の状態のまま）

- **[II]（一時停止）** を押す  
もう一度 **[II]（一時停止）** を押すと、放送中の画面に戻ります。

### お知らせ

- 視聴予約が開始されると静止は解除されます。

## 映像を切り換える

デジタル放送では、一つの番組に複数の映像がある場合があります、お好みで選択することができます。

- **[サブメニュー] → その他の操作 → 信号切換 → 映像信号切換** を選択して切り換えます。（ 45 ページ）

### お知らせ

- 映像の名称が放送局から送られている場合は、その名称を表示します。
- 切り換えできる映像があるときのみ、切り換えできません。

## 音声を切り換える

複数の音声で放送されている番組の場合、音声 1、音声 2 などの音声信号を切り換えることができます。

- **[サブメニュー] → その他の操作 → 信号切換 → 音声信号切換** を選択して切り換えます。（ 45 ページ）

### お知らせ

- 音声の名称が放送局から送られている場合は、その名称を表示します。
- 切り換えできる音声があるときのみ、切り換えることができます。

## 音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。


- **[サブメニュー] → その他の操作 → 信号切換 → 音多切換** を選択して切り換えます。（ 45 ページ）

### お知らせ

- 音声の名称が放送局から送られている場合は、その名称を表示します。
- 切り換えできる音声があるときのみ、切り換えることができます。

## データを切り換える

デジタル放送では、一つの番組に複数のデータがある場合があります、お好みで選択することができます。


- **[サブメニュー] → その他の操作 → 信号切換 → データ信号切換** を選択して切り換えます。（ 45 ページ）

### お知らせ

- データの名称が放送局から送られている場合は、その名称を表示します。
- 切り換えできるデータがあるときのみ、切り換えることができます。

## 降雨対応放送について

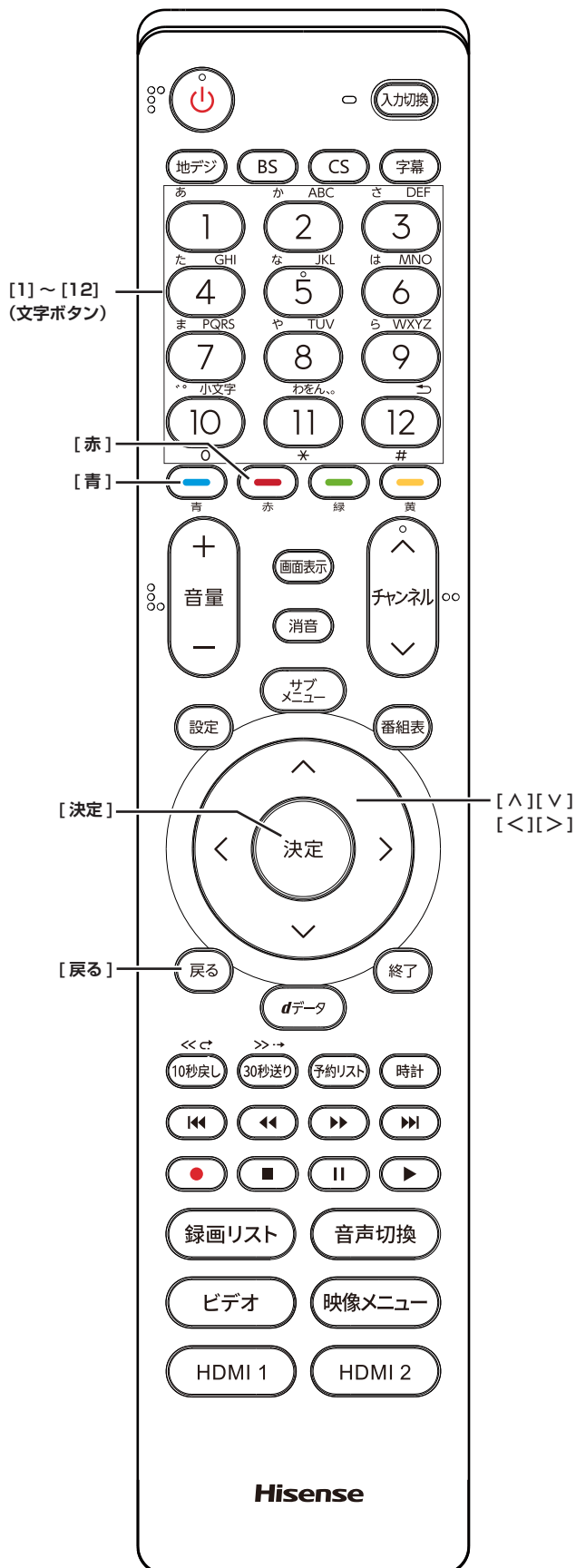
BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

- **[サブメニュー] → その他の操作 → 信号切換 → 降雨対応放送切換** を選択して切り換えます。（ 45 ページ）

### お知らせ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

# ● 文字の入力のしかた



- 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。
- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

## 1 [1] ~ [12] で文字を入力する

- ・ 文字に続けて [10] を押せば、濁点(°)や半濁点(°)の入力および小文字変換ができます。
- ・ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に [ > ] を押します。
- ・ [青] (文字切替) を押すと、入力文字の種類を変えることができます。
- ・ 文字を挿入するには、挿入する場所を [ ^ ]/[ v ]/[ < ]/[ > ] で選んで入力します。
- ・ [赤] を押すと、1文字削除します。続けて押すと文字をまとめて削除することができます。

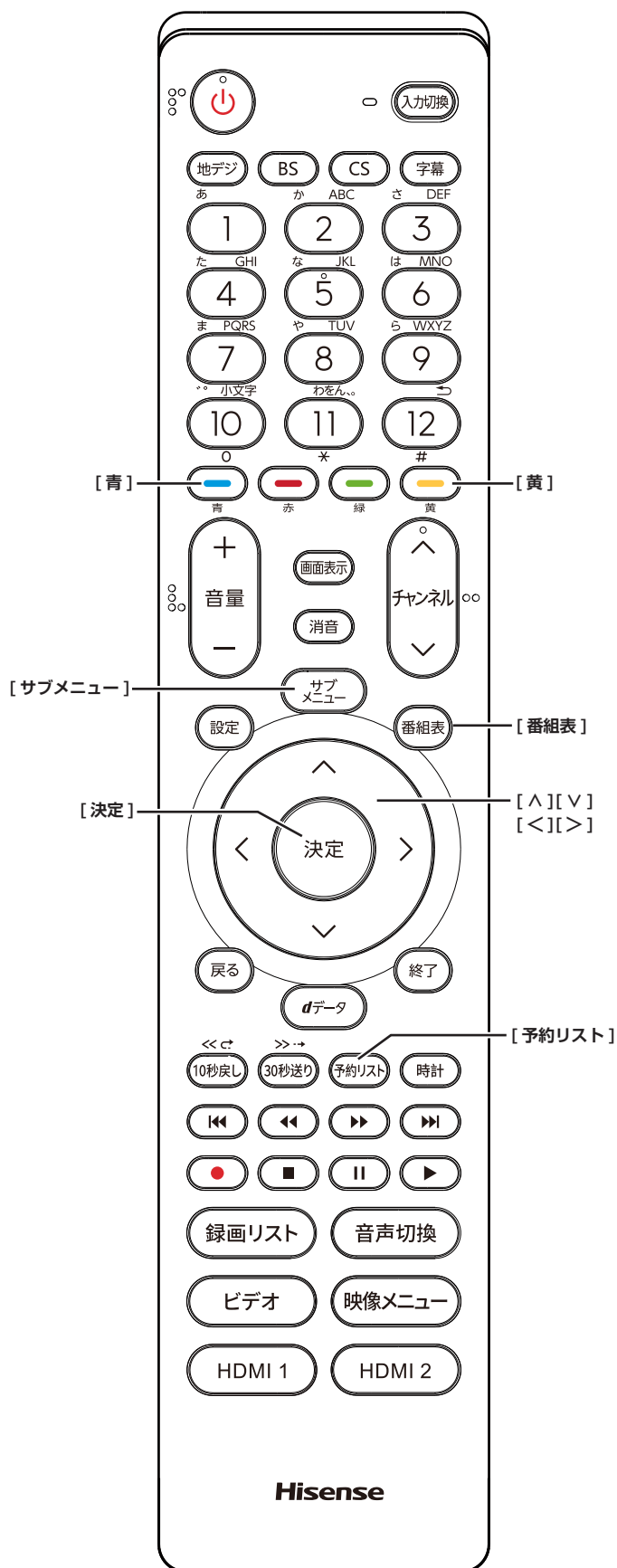
## 2 漢字変換しないときは [決定] を押す

- ・ 漢字に変換するときには、[ v ] を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら [決定] を押す

### お知らせ

- 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。
- 入力文字種が全角記号、半角記号のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。
- 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。
- 漢字候補選択時に [戻る] を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

# ● 番組の視聴予約をする



## 番組を予約する

まだ放送が始まっていない番組を視聴予約することができます。電源が「入」のときは、開始時刻になると予約されたチャンネルを選局します。また電源が「待機」のときは電源が「入」になり予約されたチャンネルを選局します。

1 「番組表」(☞ 6 ページ) から、予約したい番組を選び **[決定]** を押す

2 視聴予約を選択して、**[決定]** を押す

赤い「✓」マークが視聴予約した番組に付きます。

### お知らせ

- 「番組をさがす」(☞ 7 ページ) から、番組を選択して、予約することもできます。

## 予約の確認、取り消しをする

1 **[予約リスト]** を押す

予約が確認できます。

- **[サブメニュー]** → **予約リスト** を選択して表示させることもできます。

予約リスト		4/10 (月) AM 9:40	
予約番組			録画先
1	地デジ011 NHK総合東京	4/10(月) AM 9:45~AM 9:58	USB1
2	地デジ061 TBS	4/10(月) AM10:00~AM10:55	USB1
3	地デジ041 フジテレビジョン	4/10(月) PM 1:30~PM 1:55	USB1
4	地デジ011 NHK総合東京	4/10(月) PM 7:00~PM 8:45	USB1
5	地デジ051 テレビ朝日	4/10(月) PM 7:15~PM 8:55	USB1
6	地デジ021 NHK Eテレ東京	4/10(月) PM 7:30~PM 7:54	---
7	地デジ041 日本テレビ	4/10(月) PM 7:55~PM 8:55	---
8	地デジ051 テレビ朝日	4/10(月) PM 9:00~PM 9:55	---

2 **[^]/[v]** を押して、予約した番組を選択する

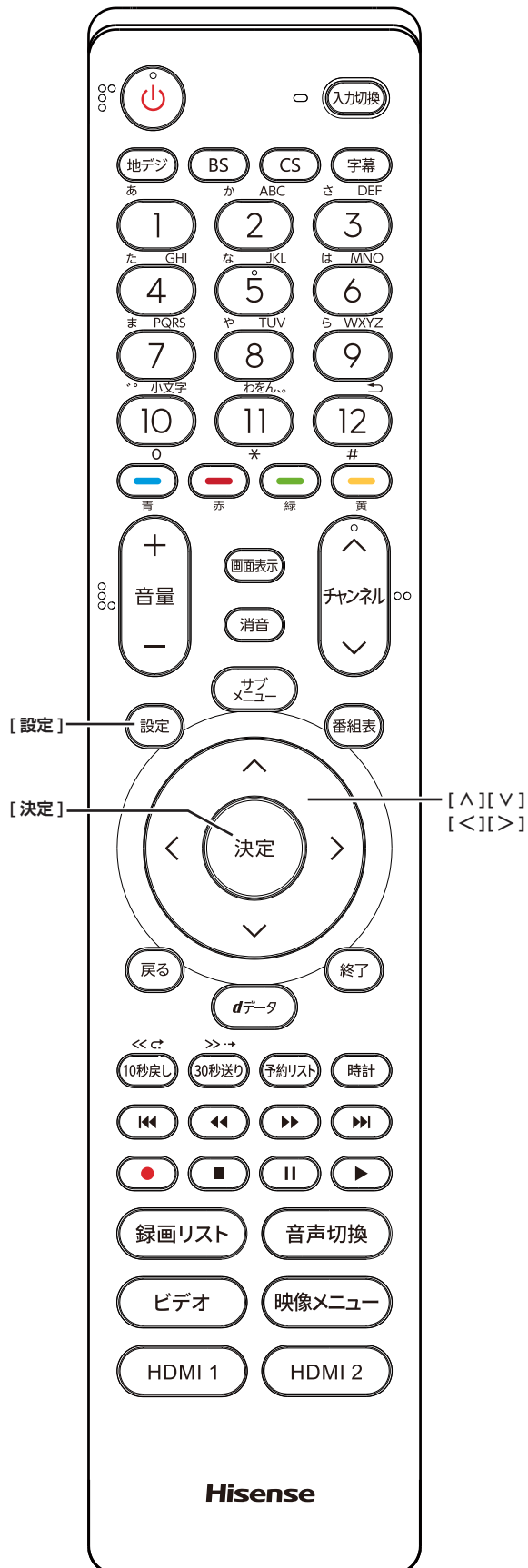
3 **[決定]** を押してはいを選択して、**[決定]** を押すと予約の取り消しができます。

- **[黄]** を押すと、番組説明が表示されます。
- **[青]** を押すと、新規の日時指定予約ができます。

### お知らせ

- 番組表から、予約登録した番組を選択して、予約削除をすることもできます。

# ● 番組の録画、録画予約をする



## USB ハードディスクを登録する

- 本機に登録できる USB2.0 のハードディスクは 8 台までですが、同時に接続できるのは 4 台までです。
- 本機で USB ハードディスクに録画した映像は、他の機器での再生はできません。(本機と同じ型番でも再生できません。)
- 他の機器で使用すると、再フォーマットが必要となり録画した番組がすべて削除されます。
- 故障で本機を修理した場合などは、USB ハードディスクに録画した番組を本機で再生できなくなります。
- 本機が対応している USB ハードディスクの容量 (公称値) は 4TB までです。

本機に未登録の USB ハードディスクを接続すると、登録画面が表示されます。

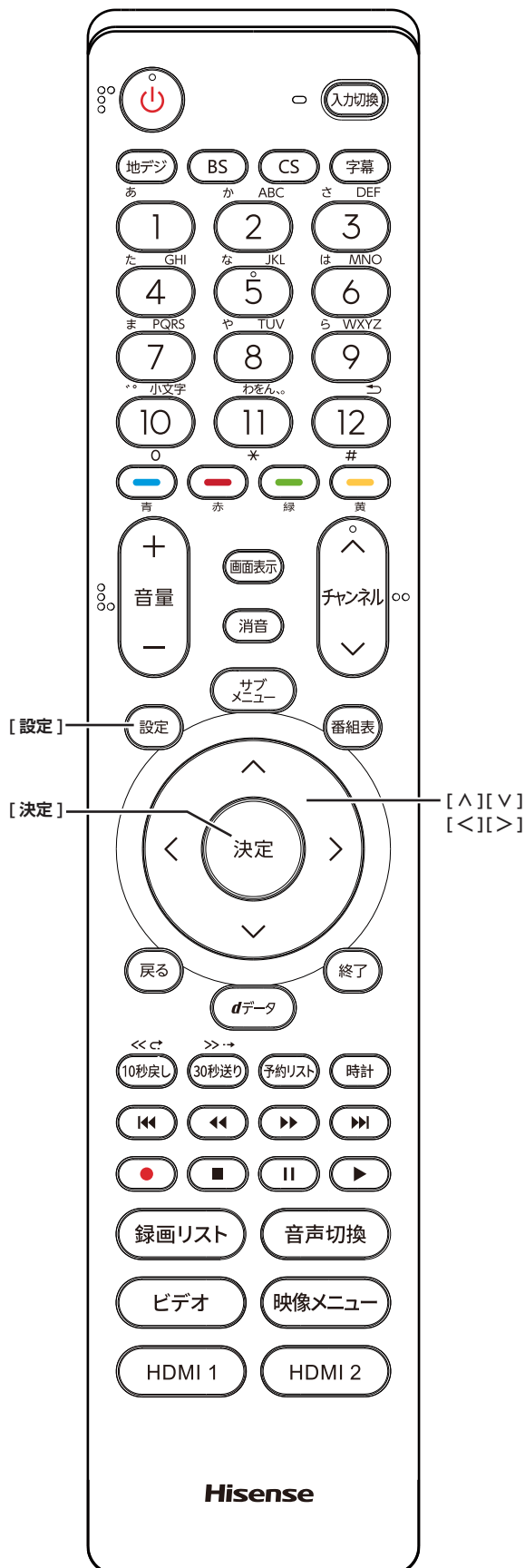
- 1 登録確認のメッセージが表示されたら、**はい**を選択して、**[決定]**を押す
- 2 フォーマットに関する確認メッセージが表示されたら、**はい**を選択して、**[決定]**を押す  
USB ハードディスクをフォーマット (初期化) し、登録します。
- 3 登録名変更の画面が表示されたら、**はい**または**いいえ**を選択して、**[決定]**を押す
- 4 登録した USB ハードディスクを録画機器の初期候補にする場合は、**はい**を選択して **[決定]**を押す

### お知らせ

- USB ハードディスクの登録名をお好みにより変更することができます。(👉 41 ページ)

## 登録を確認するには

- **[設定]** を押し、**外部機器設定** を選択し、**USB ハードディスク設定** を選択し、**機器の登録** を選択して、**[決定]** を押す  
USB ハードディスクの登録状況や、接続状況が一覧で表示されます。



## USB ハードディスクを取りはずす

本機に接続した USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりする場合は、必ず先に以下の操作を行ってください。

- 1 [設定] を押し、外部機器設定を選択し、USB ハードディスク設定を選択し、機器の取りはずしを選択して、[決定] を押す
- 2 接続している USB ハードディスクを選び、[決定] を押す
- 3 はいを選び、[決定] を押す  
「USB ハードディスクを取りはずしできます。」と表示されたら、[決定] を押す。接続ケーブルを抜くか、電源を切っても安全です。

## USB ハードディスクの登録を解除する

- 1 [設定] を押し、外部機器設定を選択し、USB ハードディスク設定を選択し、機器の登録を選択して、[決定] を押す
- 2 接続している USB ハードディスクを選び、[赤] を押す

### お知らせ

- 登録を解除した USB ハードディスクの番組は再度登録すると、再生できます。
- 再度登録するには、一度 USB ハードディスクを取りはずし、もう一度接続し直すか、本機の電源を一度切り、再度電源を入れると登録画面が表示されます。

## 省エネ設定

- 1 [設定] を押し、外部機器設定を選択し、USB ハードディスク設定を選択し、省エネ設定を選択して、[決定] を押す
- 2 オンまたはオフを選択して、[決定] を押す
  - オン：  
USB ハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をする  
と自動的に「入」になります。
  - オフ：  
本機の電源が「入」のとき、USB ハードディスクの電源は常時「入」の状態になります。



# 番組の録画、録画予約をする (つづき)

## お知らせ

- 「省エネモード」に設定した場合、USB ハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「一時間一分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。

## 動作テスト

- [設定] を押し、外部機器設定を選択し、USB ハードディスク設定を選択し、動作テストを選択して、[決定] を押し  
テストが始まります。終了までに数分間かかります。

### ■ 録画：

ハイビジョン画質で録画ができるか

### ■ 録画中の再生：

ハイビジョン画質で録画しながら番組再生ができるか

### ■ 録画中の早見早聞：

録画中に「早見早聞」(👁️ 24 ページ) ができるか

## お知らせ

- テスト結果は目安です。結果どおりに動作しないことがあります。

## 機器の初期化

正常に使用できなくなった USB ハードディスクは、初期化をすれば使用できる場合があります。

- [設定] を押し、外部機器設定を選択し、USB ハードディスク設定を選択し、機器の初期化を選択して、[決定] を押し

ご注意：初期化をすると、USB ハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

## 録画について

万一、何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、内容（データ）の保証や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

## 放送画質と録画時間

	HDD 容量 1TB	HDD 容量 2TB
地上デジタル放送 HD	(HD 最大 17Mbps) だけを録画する場合： 約 125 時間	(HD 最大 17Mbps) だけを録画する場合： 約 251 時間
BS・110 度 CS デジタル放送 HD	(HD 最大 24Mbps) だけを録画する場合： 約 88 時間	(HD 最大 24Mbps) だけを録画する場合： 約 177 時間

- ※録画時間は USB ハードディスクによって異なります。
- ※録画時間は目安であり、放送のレートや設定条件によって変わります。

## 動作確認済 USB ハードディスクについて

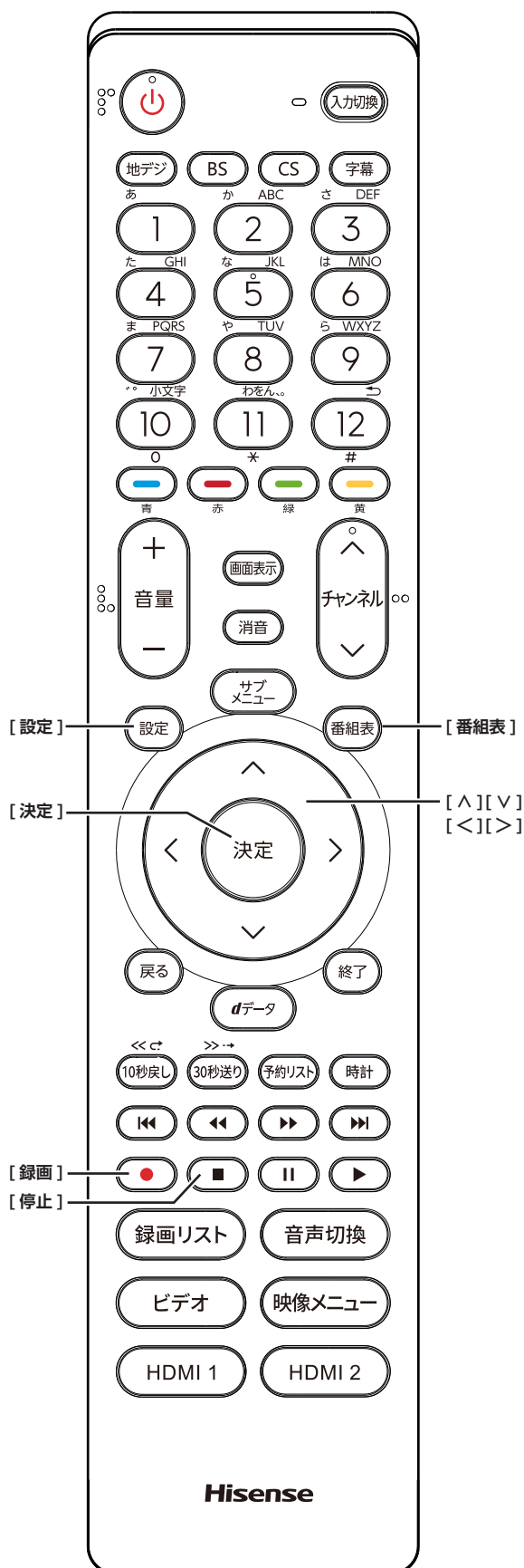
- ※最新の情報については、ハードディスクメーカーのホームページをご確認ください。

## デジタル放送の著作権保護について

- 本機では著作権保護により、コピー禁止の情報が付加されている放送番組や映像ソフトは、録画することができません。

## 録画するときのご注意

- 電源を押してから、USB ハードディスクが起動するまで、USB ハードディスクに録画したり、入っている録画番組にアクセスすることはできません。
- 本機は、ラジオ放送、独立データ放送の録画はできません。
- 録画を一時停止することはできません。
- テレビ放送に連動したデータ放送は録画されません。
- デジタル放送の受信状態が悪い（画面がきちんと表示されない、音声がとぎれる）場合、録画を行うと、番組の先頭部分や途中部分が切れたりすることがあります。
- 録画中に録画が禁止されている番組または映像になると、録画が停止します。
- 保存できる録画番組の数は、USB ハードディスク 1 台あたり最大 3,000 個です。
- 停電などで録画が中断した場合、録画された番組を正しく再生できない場合があります。録画番組の修復を行うと、再生できる場合があります。(👁️ 26 ページ)



## 録画に使用する機器を設定する

複数のUSBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器の初期候補を設定します。

- 1 [設定] を押し、外部機器設定を選択し、録画再生設定を選択し、録画基本設定を選択し、録画先を選択して、[決定] を押す
- 2 [∧]/[∨] を押し、録画に使用する機器の初期候補を選択して、[決定] を押す

### 録画先機器の設定

USB 1		ハードディスク1
USB 2		ハードディスク2
USB 3		ハードディスク3

## チャプター分割のしかたを設定する

シーンの変わり目でチャプター分割（章分け）されるように設定できます。（チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります）

- 1 [設定] を押し、外部機器設定を選択し、録画再生設定を選択し、録画基本設定を選択し、マジックチャプター設定を選択して、[決定] を押す
- 2 [∧]/[∨] を押し、チャプター分割の場面を選択して、[決定] を押す

- **本編：**  
本編とCMの間でチャプター分割されます。
- **音楽：**  
楽曲の前後でチャプター分割されます。
- **本編と音楽：**  
上記の両条件でチャプター分割されます。
- **オフ：**  
チャプター分割をしません。

### お知らせ

- 音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」または、メインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにだけ行われます。

# 番組の録画、録画予約をする (つづき)

## 見ている番組を録画する

今見ているテレビ放送番組を簡単に録画することができます。テレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。

- **【録画】** を押し、**はい** を選択して、**【決定】** を押す

録画が開始され、番組が終了するまで継続されます。リモコンで本機の電源を切っても、録画を続けます。

## 録画を途中でやめる

- 1 **【停止】** を押す
- 2 録画中止の確認画面では**はい** を選択して、**【決定】** を押す


## 見ている番組で設定を変更して録画する

- 1 **【録画】** を押す
- 2 **【^】/【v】/【<】/【>】** で各項目を選択し、**設定完了** を選択して、**【決定】** を押す

### ■ マイフォルダ：



家族などで共用するときなど、フォルダに分けて録画した番組を保存管理することができます。

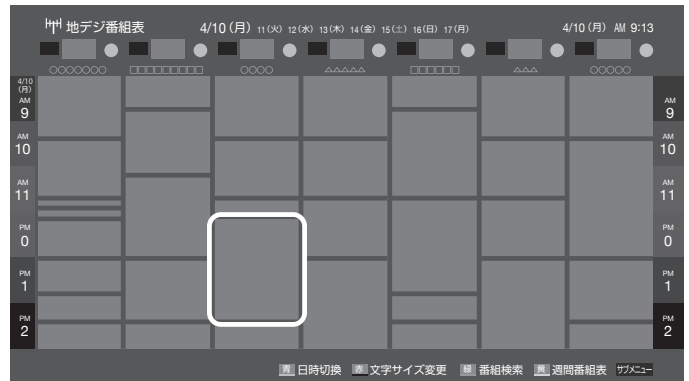
### ■ 詳細設定：

- ・録画時間：**番組終了 / 時間指定** (終了時間を設定できます。)
- ・録画先：複数台 USB ハードディスクを接続しているとき、録画に使用する USB ハードディスクを選択します。
- ・マジックチャプター：**本編 / 音楽 / 本編と音楽 / オフ**
- ・保護：**する / しない**  
(録画する番組を保護する ((消さないようにする)) かどうかを設定します。録画後に設定することもできます。)( 27 ページ)


## 番組を探して録画予約する

まだ放送が始まっていない番組を録画予約することができます。予約できる番組は最大で 128 番組です。

- 1 「番組表」( 6 ページ) から、予約したい番組を選び **【決定】** を押す  
ミニ番組表からも録画できます。(  6 ページ)

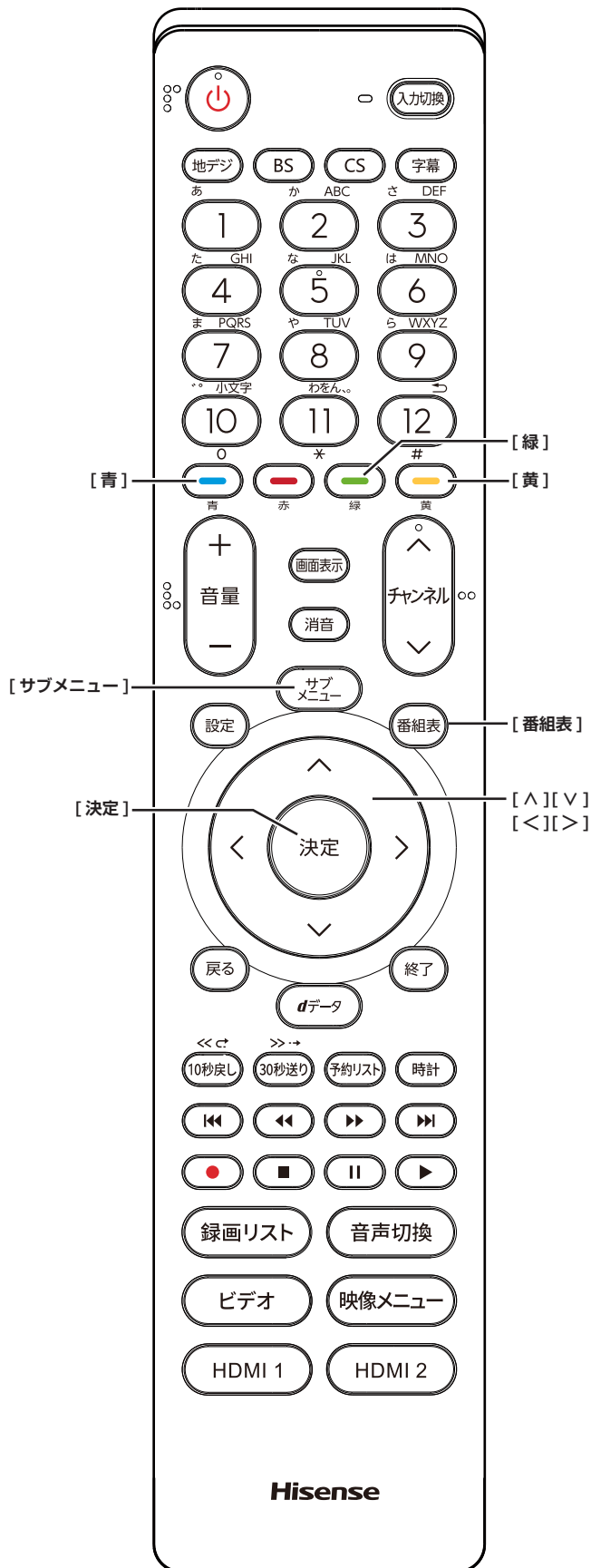


- 2 録画予約を選択して、**【決定】** を押す

赤い「」マークと赤い線が録画予約した番組に付きます。

### お知らせ

- USB ハードディスクに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
- USB ハードディスクの残量が足りない場合は録画できません。事前に確認してください。
- 録画予約実行中に **【停止】** を押すと、途中で録画を中止することができます。
- 録画中はリモコン、または本体の電源を押して「待機」にしても録画を続けます。**電源プラグはコンセントから絶対に抜かないでください。**
- 予約番組が重なっていると予約重複のメッセージを表示します。**はい** を選択して、**【決定】** を押すと「重複予約確認 / 取り消し」の画面が表示されます。重複予約の番組を取り消すには、**【決定】** を押してください。
- 外部入力からの映像 (番組) は録画できません。



## 連ドラ予約をする

連続ドラマや連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。

- 1 「番組表」(☞ 6 ページ) から、予約したい番組を選び、**[決定]**を押す
- 2 **連ドラ予約**を選択して、**[決定]**を押す
- 3 **[↑]/[↓]/[←]/[→]**で各項目を選択して、**はい**を選択して、**[決定]**を押す

### ■ マイフォルダ：

家族などで共用するときなど、フォルダに分けて録画した番組を保存管理することができます。

### ■ 詳細設定：

- ・連ドラ： 連ドラの名称を変更することができます。
- ・追跡キーワード： 必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます。  
(1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます)
- ・追跡基準： 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。
- ・録画先： 複数台USBハードディスクを接続しているとき、録画に使用するUSBハードディスクを選択します。
- ・上書き録画：**する / しない**  
**する**にすると前回の録画番組が削除されます。
- ・保護：**する / しない**  
(録画する番組を保護する(消さないようにする)かどうかを設定します。録画後に設定することもできます。)  
(☞ 27 ページ)
- ・マジックチャプター：  
**本編 / 音楽 / 本編と音楽 / オフ**

(「文字の入力のしかた」☞ 12 ページ)

赤い「🕒」マークと赤い線が録画予約した番組に付きます。

### お知らせ

- 本機では、PPV (ペイ・パー・ビュー) 番組の連ドラ予約を禁止しています。PPV (ペイ・パー・ビュー) 番組を連ドラ予約した場合、録画は実行されません。
- 連ドラ予約は、追跡基準 (指定した番組の放送曜日と開始時刻) と、追跡キーワード (番組名など) をもとに、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。



## 番組の録画、録画予約をする (つづき)

- 視聴中の番組を連ドラ予約する場合は [サブメニュー] → 連ドラ予約を選択し、はいを選択して、[決定] を押します。

### 予約日時を変更する

再放送番組などで、1話から3話まで連続して放送される場合など、1話目を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることができます。

- 1 「番組表」 (👉 6 ページ) から、予約したい番組を選び、[決定] を押す
- 2 予約日時変更を選択して、[決定] を押す
- 3 メッセージが表示されたら [ < ] / [ > ] ではない選択して、[決定] を押す
- 4 [ ^ ] / [ v ] / [ < ] / [ > ] で日時を設定して、[決定] を押す
- 5 録画予約を選択して、[決定] を押す

### マルチ表示の番組表で予約する

一つの放送局で別の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「マルチ表示」に切り換えます。(👉 8 ページ)

マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。

### 日時を指定して録画予約する

- 1 [サブメニュー] を押し、予約リストを選択して、[決定] を押す
- 2 [青] を押す
- 3 [ ^ ] / [ v ] / [ < ] / [ > ] で日時を設定して、[決定] を押す
- 4 [ ^ ] / [ v ] / [ < ] / [ > ] で放送の種類、テレビ/データ、チャンネルを設定し、[決定] を押す

#### お知らせ

- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。

### 番組を検索して録画・予約をする

- 1 [番組表] を押して、[緑] を押す  
番組検索画面が表示されます。
- 2 ジャンル、キーワード、番組記号、日付、チャンネル、有料番組の条件を入力し、検索開始を選択し [決定] を押す  
検索結果が表示されます。  
・ [黄] を押すと、選択している番組の説明を表示します。
- 3 録画したい番組を選択し [決定] を押す

### 予約の設定を変更する

- 1 [サブメニュー] を押し、予約リストを選択して、[決定] を押す
- 2 [ ^ ] / [ v ] で設定を変更したい番組を選択して、[決定] を押す
- 3 [ ^ ] / [ v ] / [ < ] / [ > ] で各項目を選択し、設定完了を選択して、[決定] を押す

#### ■ マイフォルダ：

家族などで共用するときなど、フォルダに分けて録画した番組を保存管理することができます。

#### ■ 詳細設定：

- ・ 録画時間： 番組終了 / 時間指定 (終了時間を設定できます。)
- ・ 録画先： 複数台 USB ハードディスクを接続しているとき、録画に使用する USB ハードディスクを選択します。
- ・ 放送時間： 連動する / 連動しない
- ・ マジックチャプター：  
本編 / 音楽 / 本編と音楽 / オフ
- ・ 保護： する / しない  
(録画する番組を保護する ((消さないようにする)) かどうかを設定します。録画後に設定することもできます。)(👉 27 ページ)

#### お知らせ

- 連ドラ予約の変更の場合は、詳細設定の内容が上記とは異なります。(👉 19 ページ)

## 予約の確認、取り消しをする

1 [サブメニュー] を押し、予約リストを選択して、[決定] を押す

予約が確認できます。

予約番組	録画先
1 地デジ011 NHK総合東京	4/10(月) AM 9:45~AM 9:58 USB1
6 地デジ061 TBS	4/10(月) AM10:00~AM10:55 USB1
8 地デジ041 フジテレビジョン	4/10(月) PM 1:30~PM 1:55 USB1
1 地デジ011 NHK総合東京	4/10(月) PM 7:00~PM 8:45 USB1
5 地デジ051 テレビ朝日	4/10(月) PM 7:15~PM 8:55 USB1
2 地デジ021 NHK Eテレ東京	4/10(月) PM 7:30~PM 7:54 ---
4 地デジ041 日本テレビ	4/10(月) PM 7:55~PM 8:55 ---
5 地デジ051 テレビ朝日	4/10(月) PM 9:00~PM 9:55 ---



2 [△]/[▽] を押して、予約した番組を選択する



3 [決定] を押しはいを選択して、[決定] を押すと予約の取り消しができる

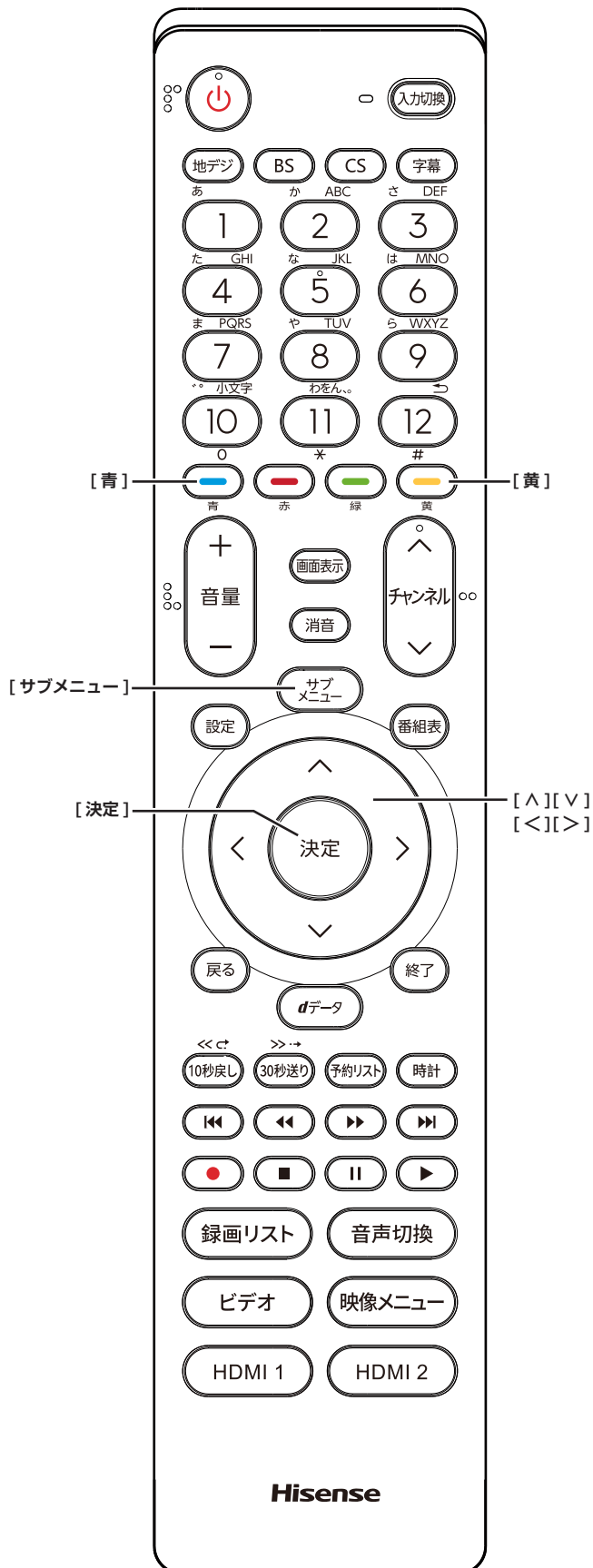
- [黄] を押すと、番組説明が表示されます。
- [青] を押すと、新規の日時指定予約ができます。

### お知らせ

- 番組表から、予約登録した番組を選択して、予約削除をすることもできます。
- 録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。

  : 予約時間が重複する番組が2番組以上あると、重複アイコンが表示されます。

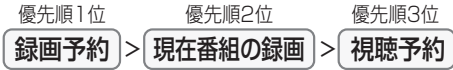
  : 放送時間変更などで同一の有料番組に予約が重複したときに表示されます。この場合、録画されるのは一つです。



# 番組の録画、録画予約をする (つづき)

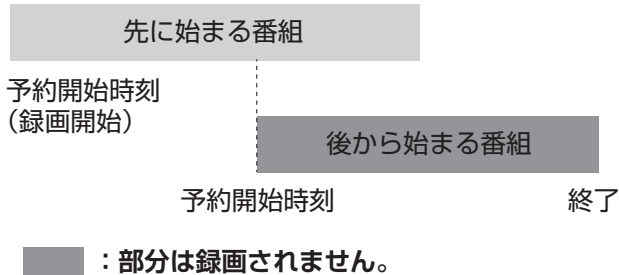
## 予約・録画の優先順位について

録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先され、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。



■ **予約時間の一部が重なっているとき：**  
 予約録画が重なった場合は、あとから始まる番組の予約は実行されません。また先に始まる番組の終了時刻とあとから始まる番組の開始時刻が同じときは、先に始まる番組の終わりの部分約15秒が録画されません。

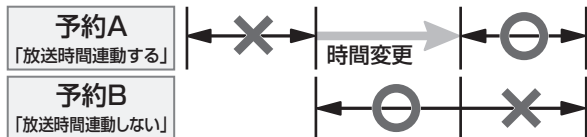
予約開始時刻の早い番組を優先



■ **放送時間が変更されたとき：**  
 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

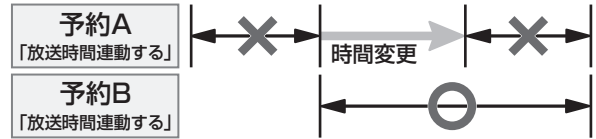
● 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。  
 例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。



「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

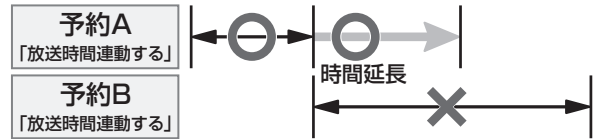
### ① 開始時刻が変更された場合

● 開始時刻の早い予約が優先されます。  
 例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



### ② 放送時間が延長された場合

● 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。  
 例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Bは取り消されます。



### ③ 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

● 最初に予約設定した番組が優先され、2番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

# ● 録画した番組を再生する、整理する

## 録画した番組を再生する

録画した番組を一覧画面で表示して選択することで、再生することができます。

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [↑]/[↓]/[<]/[>]/[10秒戻し]/[30秒送り] を押し、再生したい録画番組を選択して、[決定] を押す

再生が開始されます。再生を停止する場合は、[停止] を押します。放送画面などに戻ります。

■ [10秒戻し]/[30秒送り] を押すと、分類タブを切り換える

- ・ **すべて**： すべての録画番組が表示されます。
- ・ **未視聴**： 未再生の録画番組が表示されます。
- ・ **曜日別**： 録画した曜日ごとに表示されます。
- ・ **ジャンル別**： ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- ・ **連ドラ別**： **連ドラ予約**の予約ごとの録画された番組が表示されます。
- ・ **マイフォルダ別**： 指定した「マイフォルダ」ごとに表示されます。

■ [<]/[>] を押すと、グループタブを切り換える

### お知らせ

- 分類が「すべて」「未視聴」の場合はグループタブはありません。

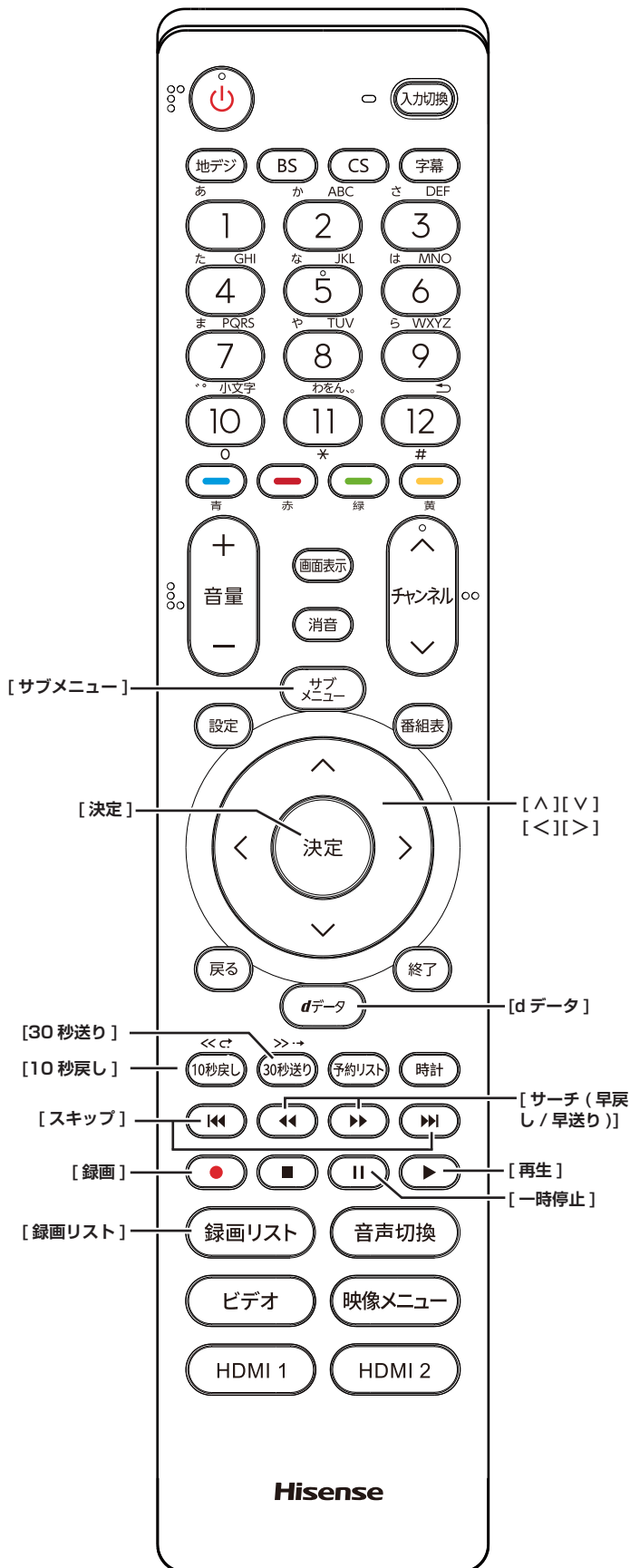
## 番組の冒頭から再生するー 頭出し再生

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [↑]/[↓]/[<]/[>]/[10秒戻し]/[30秒送り] を押し、再生したい録画番組を選択する
- 3 [サブメニュー] を押し、**頭出し再生**を選択して、[決定] を押す

## 番組を録画しながら再生する

録画中の番組を、録画しながら再生することができます（追いかけ再生）。

- [↑]/[↓] を押して、録画中の番組を選び、[決定] を押す







## 録画した番組を再生する、整理する (つづき)

The screenshot shows the '録画リスト' (Recording List) screen. Callouts on the left explain:
 

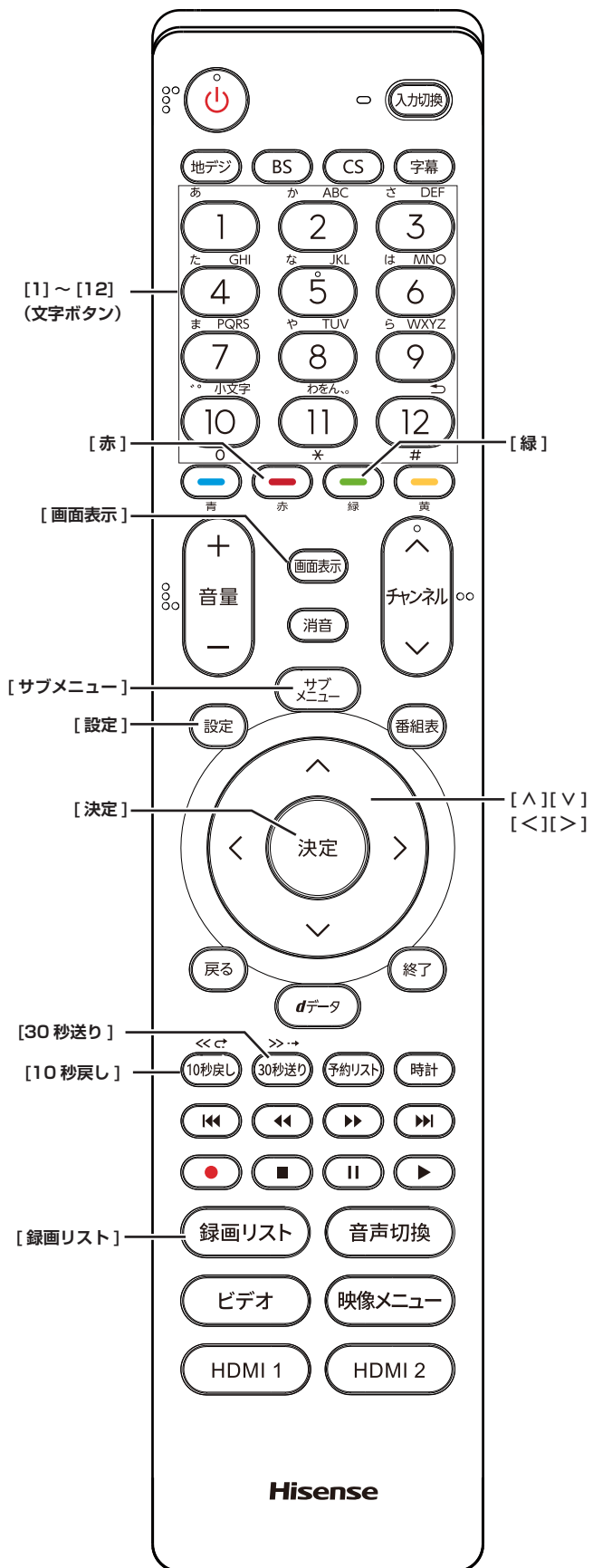
- 分類タブ**: Genre tabs (すべて, 未視聴, 曜日別, ジャンル別, 連ドラ別, マフォルダ別).
- グループタブ**: Sub-genre tabs (スポーツ, ワイドショー, ドラマ, 音楽, パラエディ).
- 使用中の機器**: Recording device (USB 1, ハードディスク 1).
- 選択中の録画番組が再生画面に表示されます。**: Selected program info (地デジ 011, NHK総合・東京, 2017/4/10(月) PM 9:00 (01:58), HD 4.8%).
- 自動削除機能が有効のときに表示**: Auto-delete function (自動削除).
- 機器の情報**: Recording time (22時間45分) and remaining space (残量: 46%).
- 操作ガイド**: Action guide (選で選び, 決定を押す, リスト切換, 機器選択, 赤削除, チャプター一覧, 真ムーブ, カムコー).

 Callouts on the right explain:
 

- 選んだ番組の番号 / 録画番組数**: Selected program number and total recordings (2/30).
- 番組の並び順**: Sort order (新しい順).
- 放送日**: Broadcast date (4/10(月)).
- 録画中アイコン**: Recording in progress icon (●).
- 未再生の番組**: Unrecorded programs (NEW).
- 上書きアイコン**: Overwrite icon (G).
- コピー制御アイコン**: Copy control icon (9).
- 各マイフォルダのアイコン**: My folder icons.
- 保護アイコン**: Protection icon.

## いろいろな再生のしかた

<b>ある場面を止めてみる</b>	再生中に <b>[   ]</b> (一時停止) を押す	もとに戻すには、 <b>[   ]</b> (一時停止) を押すか、 <b>[再生]</b> を押します。	<b>連続コマ戻し</b>	一時停止中に <b>[◀◀]</b> を1秒以上押し続ける	連続コマ戻し再生になります。もとに戻すには <b>[再生]</b> を押します。
<b>「早見早聞再生」 (1.5倍速)</b>	再生中に <b>[再生]</b> を押す	もとに戻すには、 <b>[再生]</b> を押します。	<b>次のチャプターの先頭から見る</b>	再生中、一時停止中、早送り、早戻し中に <b>[▶▶]</b> を押す	押した回数だけチャプターマークのある場面に飛び越して再生します。(チャプターのない録画番組では録画日時が一つ次の番組を再生します。)
<b>早送り再生</b>	再生中に <b>[▶▶]</b> を押す	押すたびに早送り速度が速くなります。(4段階)もとに戻すには <b>[再生]</b> を押します。	<b>前のチャプターの先頭から見る</b>	再生中、一時停止中、早送り、早戻し中に <b>[◀◀]</b> を押す	押した回数だけチャプターマークのある場面に飛び越して再生します。(チャプターのない録画番組では再生中の番組の先頭に戻って再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。)
<b>コマ送り</b>	一時停止中に <b>[▶▶]</b> を押す	もとに戻すには <b>[再生]</b> を押します。	<b>ワンタッチスキップ</b>	再生中または「早見早聞再生」中に <b>30秒送り</b> を押す	30秒ほど先に進んで再生します。
<b>スロー再生</b>	一時停止中に <b>[▶▶]</b> を1秒以上押し続ける	押すたびにスロー再生の速度が速くなります。(3段階)もとに戻すには <b>[再生]</b> を押します。	<b>ワンタッチリプレイ</b>	再生中または「早見早聞再生」中に <b>10秒戻し</b> を押す	10秒ほど前に戻って再生します。
<b>早戻し再生</b>	再生中に <b>[◀◀]</b> を押す	押すたびに早戻し速度が速くなります。(4段階)もとに戻すには <b>[再生]</b> を押します。	<b>録画リストを表示する</b>	再生中に <b>[録画リスト]</b> を押す	—



## 「チャプター一覧」画面で場面を選んで再生する

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [ 〓 ]/[ 〴 ]/[ < ]/[ > ]/[10秒戻し]/[30秒送り] を押し、再生したい録画番組を選択する
- 3 [緑] を押す  
チャプター一覧画面が表示されます。  
• [緑] を押すと、リスト表示に戻ります。
- 4 [ 〓 ]/[ 〴 ]/[ < ]/[ > ] を押し、再生したい場面を選択して、[決定] を押す  
選択したチャプターの先頭から再生が始まります。

## 再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

- 1 再生中に [サブメニュー] を押し、サーチを選択して、[決定] を押す
- 2 [1] ~ [10] で冒頭からの時間を指定する。  
【例】1時間25分5秒後は [10]、[1]、[2]、[5]、[10]、[5] の順に押します。

## 見たい録画番組を探して再生する

- 1 録画リスト表示中に [サブメニュー] を押し、番組検索を選択して、[決定] を押す
- 2 [ < ]/[ > ] で検索するグループのタブを選択する
- 3 ジャンル、キーワード、番組記号、日付、チャンネルの条件を入力し、検索開始を選択し [決定] を押す

## 繰り返し再生の設定を変える

録画番組の繰り返し再生（リピート再生）を設定することができます。

- 1 録画リスト表示中に [サブメニュー] を押し、再生設定を選択して、[決定] を押す
- 2 [ 〓 ]/[ 〴 ] で項目を選択して、[決定] を押す
  - 1コンテンツリピート：  
選択した一つの番組の再生を繰り返します。
  - リピート：  
すべての番組の連続再生を繰り返します。





## 録画した番組を再生する、整理する（つづき）

### ■ オフ:

繰り返し再生をしません。

### お知らせ

- リpeat再生をしているときは、画面左上にリpeat再生アイコンが表示されます。  
(1 コンテンツリpeat: 1、リpeat: )
- 録画中の番組はリpeat再生ができません。

## 録画番組の情報を見る

- 再生中に [画面表示] を押す  
再生中の番組の情報が表示されます。もう一度押すと、表示は消えます。

## 録画番組の番組説明を見る

- 録画リスト表示中、または再生中に [サブメニュー] を押し、**番組説明**を選択して、[決定] を押す  
番組説明画面が表示されます。

## 録画番組を修復する

録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

- 1 [設定] を押し、**外部機器設定**を選択し、**USBハードディスク設定**を選択し、**録画番組の修復**を選択して、[決定] を押す
- 2 [↑]/[↓] を押し、番組を修復する機器を選択して、[決定] を押す
- 3 確認画面ではいを選択して、[決定] を押す  
修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。
- 4 「録画番組の修復を行いました。」が表示されたら、[決定] を押す

### お知らせ

- この操作には、30分程度かかることがあります。
- 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。
- 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

## 番組を並べ替える

録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。

- 1 録画リスト表示中に [サブメニュー] を押し、**並べ替え**を選択して、[決定] を押す
- 2 [↑]/[↓] で項目を選択して、[決定] を押す
  - 新しい順:  
日付の新しい順に表示されます。
  - 古い順:  
日付の古い順に表示されます。

## 機器の情報を確認する

使用中の機器の情報を確認することができます。

- 録画リスト表示中に [サブメニュー] を押し、**機器の情報**を選択して、[決定] を押す

## 一つの録画番組を消す

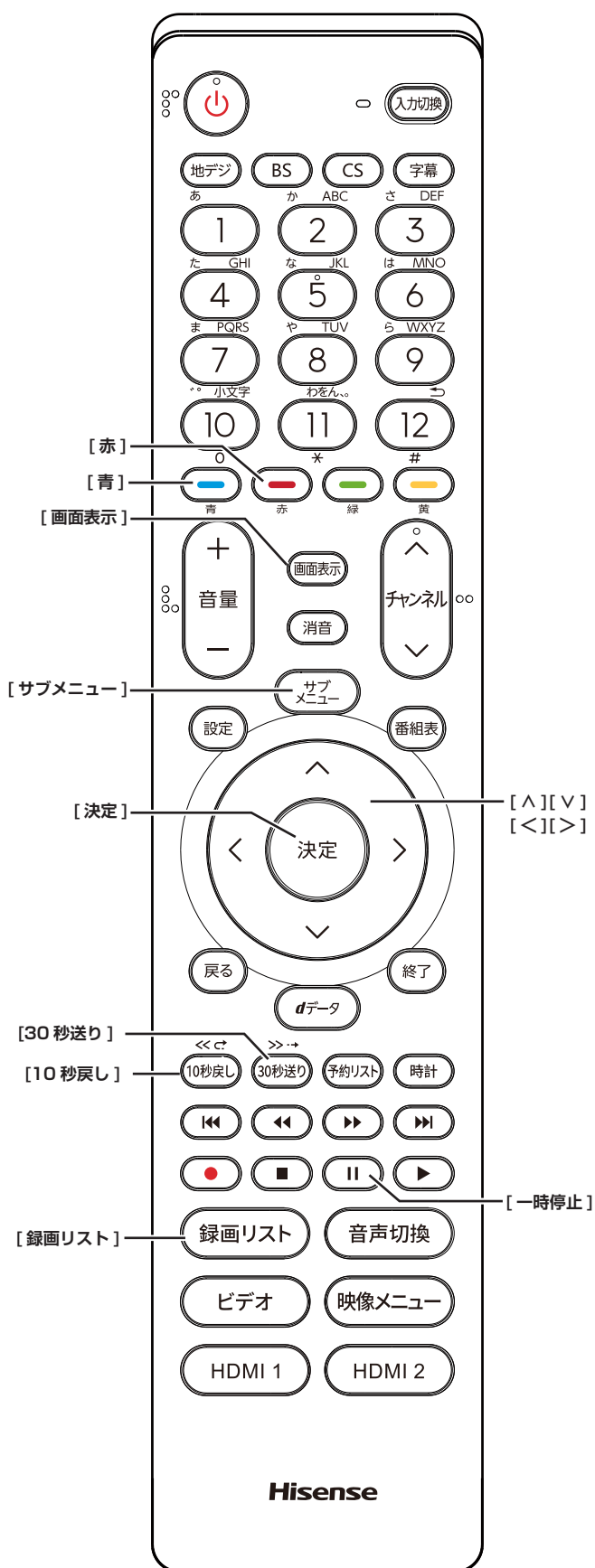
- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [↑]/[↓] を押して、削除したい録画番組を選択する
- 3 [赤] を押し、**1件削除**を選択して、[決定] を押す
- 4 確認画面ではいを選択して、[決定] を押す
- 5 削除が終了したら [決定] を押す

## 複数の録画番組を消す

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [↑]/[↓] を押して、削除したい録画番組を選択する
- 3 [赤] を押し、**複数削除**を選択して、[決定] を押す
- 4 さらに削除したい録画番組を選択して、[決定] を押す  
「✓」マークが付きます。もう一度押すと消えます。
- 5 選択が終わったら [赤] を押し削除を実行する

### お知らせ

- 保護された番組を消す場合は、その番組の保護設定を解除してから削除できます。



## グループ内の録画番組をすべて消す

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [^]/[v] を押して、削除したい録画番組を選択する
- 3 [赤] を押し、グループ内全削除を選択して、[決定] を押す
- 4 確認画面ではいを選択して、[決定] を押す
- 5 削除が終了したら [決定] を押す

## 自動的に消す（自動削除設定）

お買い上げ時は、USB ハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されないように設定されています。削除するようにしたい場合は削除するに設定してください。

- 1 録画リスト表示中に [サブメニュー] を押し、自動削除設定を選択して、[決定] を押す
- 2 [^]/[v] で「削除する」を選び、[決定] を押す

## 誤って消さないように保護する

自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [^]/[v] を押して、保護したい録画番組を選択する
- 3 [サブメニュー] を押し、保護を選択して、[決定] を押す

### お知らせ

- 録画中に保護の操作はできません。
- 選択した番組が保護されます。(🔒 がつきます)
- 保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護解除」ができます。



# 録画した番組を再生する、整理する (つづき)

## チャプター編集をする

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [^]/[v] を押して、チャプター編集したい録画番組を選択する
- 3 「いろいろな再生のしかた」 (☞ 24 ページ) を利用してチャプター分割したい場面で、[||] (一時停止) を押す

画面右下に操作ガイドと再生タイムバーが表示されます。

- [青] を押すと、一時停止した場面でチャプターが分割されます。
- [赤] を押すと、一時停止したチャプターとその前のチャプターが結合されます。

必要に応じて、手順 3 を繰り返します。

### お知らせ

- チャプター数の上限 (99 個) に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。

## グループ名を変更する

「マイフォルダ別」の録画リストで表示されるグループのタブ名を変更することができます。

「連ドラ別」の場合にも同様の操作ができます。その場合は、グループ名を変更すると予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [10 秒戻し]/[30 秒送り] で分類タブを変更し、「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる  
連ドラグループ名を変更する場合は、「連ドラ別」の録画リストを表示させます。
- 3 [<]/[>] で名前を変更するグループのタブを選択する
- 4 [サブメニュー] を押し、[^]/[v] で「編集・管理」→「マイフォルダ管理」→「マイフォルダ名の変更」の順に進み、[決定] を押す  
「連ドラ別」のグループ名を変更する場合は編集・管理→連ドラグループ名の変更を選択して [決定] を押します。

- 5 文字入力画面で変更したい名前を入力する  
(「文字の入力のしかた」☞ 12 ページ)

### お知らせ

- 全角文字で 10 文字まで入力できます。
- 文字入力の操作が終わると、録画リストのグループタブ名が変更されます。
- 録画中にグループ名変更の操作はできません。

## ほかのグループに移動する

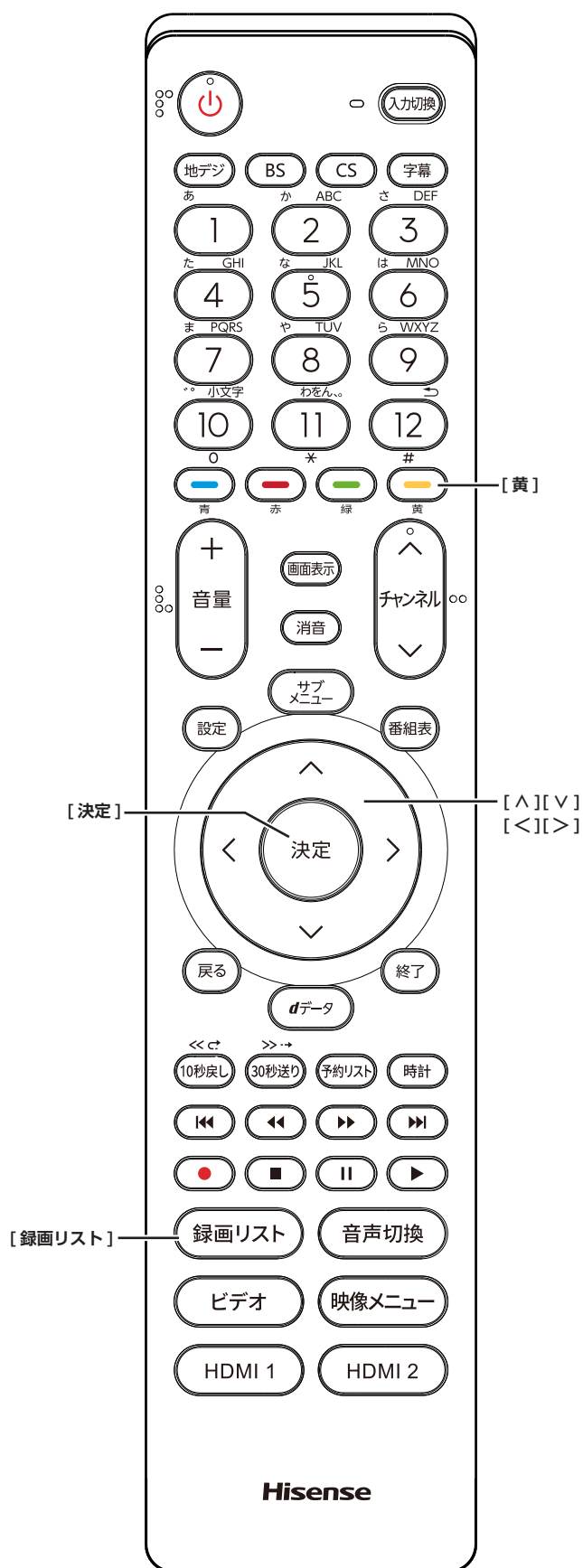
録画番組をほかのグループに移動することができます。

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [10 秒戻し]/[30 秒送り] で分類タブを変更し、「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる
- 3 [<]/[>] で移動する番組が保存されているグループのタブを選択する
- 4 [サブメニュー] を押し、[^]/[v] で「編集・管理」→「マイフォルダ管理」→「マイフォルダの変更」の順に進み、[決定] を押す
- 5 [^]/[v] で項目を選択して、[決定] を押す
  - 1 件変更：  
選択中の番組を別のグループに移動します。
  - 複数変更：  
複数の番組を選択して、まとめて別のグループに移動します。
  - グループ内全変更：  
選択中のグループの全番組を別のグループに移動します。
- 6 [^]/[v] で移動先のグループを選択して、[決定] を押す
- 7 複数変更の場合は [^]/[v] で移動する番組を選択して、[決定] を押す  
[✓] マークが付きます。もう一度押すと消えます。  
変更したい複数の番組を選択して、[黄] を押します。
- 8 [<]/[>] ではいを選択して、[決定] を押す
- 9 [決定] を押す

### お知らせ

- 保護された録画番組は、移動することができます。
- 録画中にほかのグループに移動する操作はできません。

# ● 録画番組をダビング（ムーブ）する



- USB ハードディスクが2台以上接続されて、登録されていることが必要です。
- USB ハードディスク間のダビングは、ムーブ（移動）だけです。
- ムーブ中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- ムーブ中の番組は再生できません。

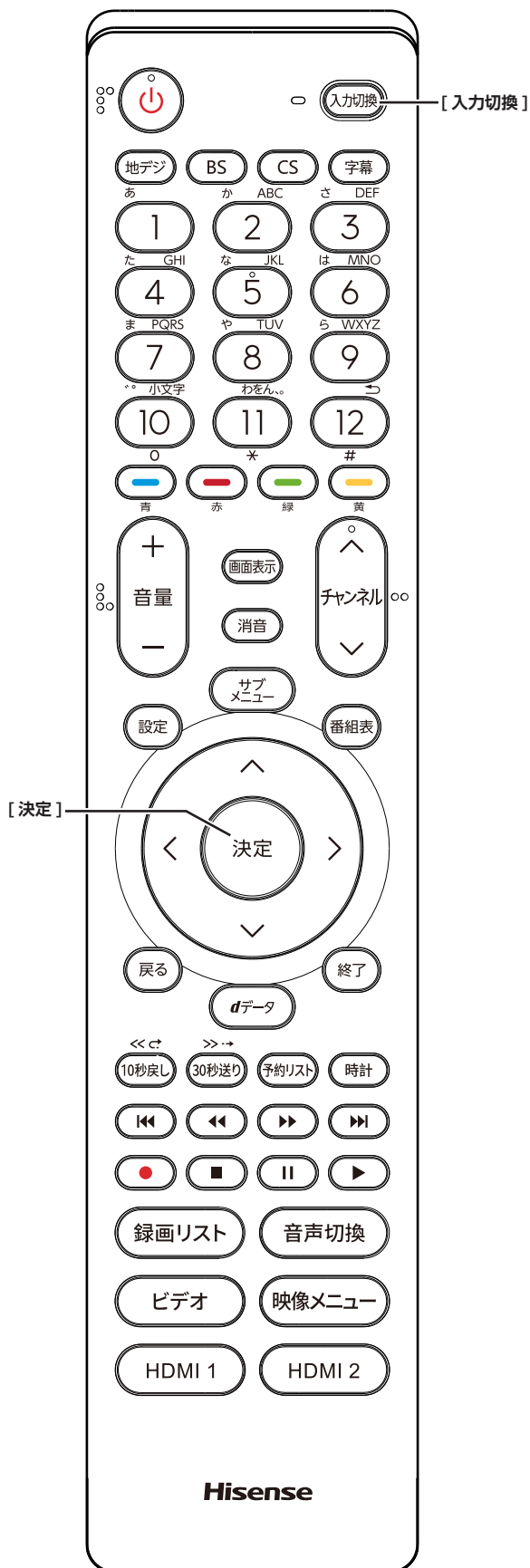
## USB ハードディスク間でムーブする

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [↑]/[↓] を押して、ムーブしたい録画番組を選択し、[黄] を押す
- 3 [↑]/[↓] を押して、1件ムーブ / 複数ムーブを選択し、[決定] を押す
- 4 [↑]/[↓] を押して、ムーブ先を選択し、[決定] を押す
- 5 複数ムーブの場合は [↑]/[↓] でムーブする番組を選択して、[決定] を押す  
「✓」マークが付きます。もう一度押すと消えます。
- 6 ムーブする番組をすべて選んだら、[黄] を押す

### お知らせ

- 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、[サブメニュー] から保護解除を選択し、保護を解除してからムーブを操作してください。
- 一度にムーブできるのは 64 番組までです。

# ● 接続した入力機器の映像を見る



## 1 接続を確認する

接続を確認してください。(取扱説明書 27～32 ページ)

## 2 入力を切り換える

- 1 [入力切換] を押す
- 2 続けて [入力切換] を押して入力を選び、[決定] を押す

[決定] を押さなくても、しばらく待つと選択した入りに切り換わります。

以下の順番で切り換わります。

テレビ → HDMI1 → HDMI2 → ビデオ →  
テレビに戻る

### お知らせ

- ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換を押したときにスキップさせることができます。(40 ページ)
- 接続する外部機器に合わせて、入力表示を変更することができます。(40 ページ)

## 3 接続した機器を再生する

接続した機器の取扱説明書をご覧ください、機器を再生してください。

# HDMI 連動 (CEC) 対応機器を操作する

## HDMI ケーブルで接続する

本機と HDMI 連動 (CEC) 対応機器を HDMI ケーブル (市販品) で接続して、映像、音楽を楽しむことができます。

接続を確認してください。(取扱説明書 27 ~ 32 ページ)

## お知らせ

- CEC リンクは HDMI-CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール方式です。
- HDMI 連動 (CEC) を使うには、接続した機器側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- すべての機能が操作できるわけではありません。

## リモコンで操作するための設定をする

1 [設定] を押し、外部機器設定を選択し、HDMI 連動設定を選択して、[決定] を押す

2 [△]/[▽] を押し、各項目を選択して、[決定] を押す

### ■ HDMI 連動機能：

本機のリモコンでの HDMI 連動機器操作、ブルーレイレコーダー等の録画・予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

### ■ リモコン動作モード：

本機からの操作に対応した HDMI 連動対応機器を接続している場合、連動機器優先に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。

### ■ 連動機器→テレビ入力切替：

連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切替をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。

### ■ 連動機器→テレビ電源：

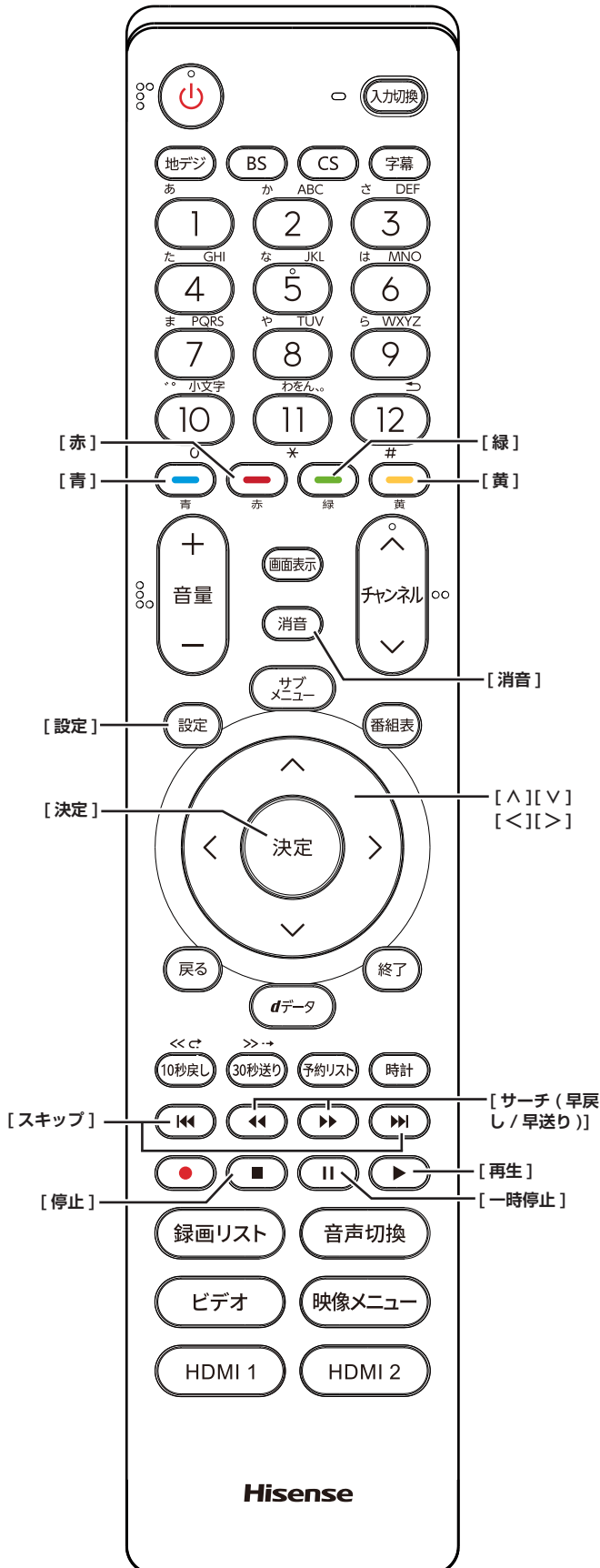
連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。

- この機能と、「連動機器→テレビ入力切替」を「連動する」に設定しておく、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。
- 本体の電源ボタンで電源を切った場合、この機能は働きません。リモコンの [電源] で電源を「待機」にしてください。

### ■ テレビ→連動機器電源オフ：

本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です。(録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならないことがあります)

- 本機の省エネ設定 やオフタイマーとも連動します。(取扱説明書 15 ページ、3 ページ)







# HDMI 連動 (CEC) 対応機器を操作する (つづき)

## ■ サウンドシステム連動:

テレビのリモコンでサウンドシステムのスピーカーを操作する機能の設定をします。

### ・使用する

HDMI 連動対応のオーディオ機器とそのスピーカーを接続している場合、本機のリモコンで以下のことができます。

- ・ 音声をテレビから出すか、オーディオ機器のスピーカーから出すかの切替
- ・ オーディオ機器の音量調節や消音

### ・使用しない

サウンドシステムのスピーカー切替や音量調整を使用しないときに選びます。

## ■ 優先スピーカー:

● サウンドシステム連動を使用するに設定した場合に、優先するスピーカーを選択します。

### ・ テレビスピーカー

本機のスピーカーから音声が出ます。

### ・ サウンドシステムスピーカー

オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。

● サブメニューの「スピーカー切替」でスピーカーを一時的に切り換えることもできます。(45 ページ) サブメニューでスピーカーを切替した場合は本機の電源操作で、優先スピーカー設定で選択した状態に戻りません。

## 本機のリモコンでできるおもな操作

HDMI 連動機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。

※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。

[▶再生]	番組を再生します。
[⏸一時停止]	再生中に押すと一時停止になります。もう一度押すと、再生が再開されます。
[■]	録画や再生を停止します。
[▶▶]	一つ先に進んで頭出し再生をします。
[◀◀]	前に戻って頭出し再生をします。
[▶▶]	再生中に押すと早送り再生になります。
[◀◀]	再生中に押すと早戻し再生になります。
[^]・[v] [<]・[>]	メニューなどで項目を選択します。
[決定]	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
[戻る]	一つ前の操作に戻ります。
[終了]	操作を終了します。
[青]・[赤] [緑]・[黄]	各機器でカラーボタンに割り当てられた機能を実行します。
[音量+]・ [音量-]	オーディオ機器の音量を調節します。
[消音]	オーディオ機器の音を消します。

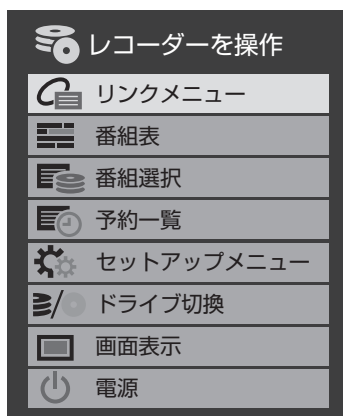
## HDMI 連動機能を選ぶ

● 入力切替で HDMI 連動対応機器が接続された入力を選び、[サブメニュー]を押して、**機器操作**を選択して [決定] を押す

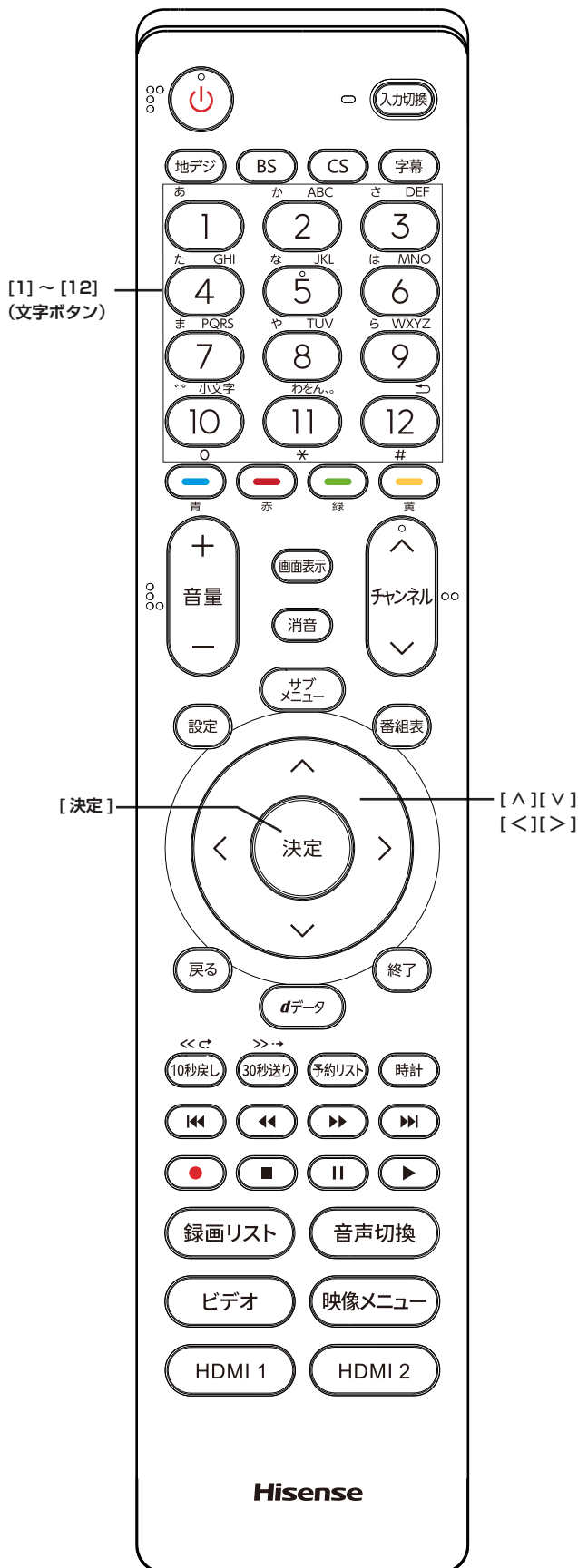
本機と HDMI ケーブルを使って接続した HDMI 連動 (CEC) 対応機器を操作するメニューを表示します。

接続している HDMI 連動 (CEC) 対応機器に応じたメニューが表示されます。

### [例]



# ● インターネットを利用するための設定をする



- お買い上げ時の設定や「はじめての設定」でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をやり直す場合などに、必要に応じて設定します。

## IP アドレス設定

インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

- **[設定]** を押し、**初期設定** を選択し、**通信設定** を選択し **IP アドレス設定** を選択する

- IP アドレスを自動取得できる場合は、**[<]/[>]** で自動取得を選び、**[決定]** を押します。

IP アドレス自動取得をしないに設定した場合は、DNS アドレス設定の DNS アドレス自動取得は、自動的にしないに設定されます。その場合は、DNS アドレスを手動で設定します。

### ■自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① **[<]/[>]** でしないを選びます。
- ② **[^]/[v]** で IP アドレスを選び、**[1] ~ [10]** で入力します。
- ③ **[^]/[v]** でサブネットマスクを選び、**[1] ~ [10]** で入力します。
- ④ **[^]/[v]** でデフォルトゲートウェイを選び、**[1] ~ [10]** で入力します。  
②~④では 0 ~ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。
- ⑤ **[決定]** を押します。

## DNS 設定

ドメイン名を IP アドレスに置き換える機能を持ち、IP アドレスで特定されている DNS サーバーを設定します。

- **[設定]** を押し、**初期設定** を選択し、**通信設定** を選択し **DNS 設定** を選択する

IP アドレス自動取得をしないに設定した場合は、DNS アドレス自動取得は、自動的にしないに設定されるにはできません。その場合は、DNS アドレスを手動で設定します。

- DNS アドレスを自動取得できる場合は、**[<]/[>]** で自動取得を選び、**[決定]** を押します。


### ■自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① **[<]/[>]** でしないを選びます。
- ② **[^]/[v]** で DNS アドレス（プライマリ）を選び、**[1] ~ [10]** で入力します。
- ③ **[^]/[v]** で DNS アドレス（セカンダリ）を選び、**[1] ~ [10]** で入力します。  
②~③では 0 ~ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。
- ④ **[決定]** を押します。

# インターネットを利用するための設定をする (つづき)

## プロキシ設定

インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。ここでのプロキシ設定は HTTP に関するものです。

- **[設定]** を押し、**初期設定** を選択し、**通信設定** を選択し **プロキシ設定** を選択する
  - ① **[△]/[▽]** で **使用する** を選び、**[決定]** を押します。
  - ② **[△]/[▽]** で **サーバー名** を選び、**[決定]** を押します。
  - ③ サーバー名を入力します。  
入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角の `! "# % & ( ) * + , - . : ; < = > @ [ ¥ ] ^ { } ~ ? _ /` です。  
〔文字の入力のしかた〕  12 ページ
  - ④ **[△]/[▽]** で **ポート番号** を選び、**[1]** ～ **[10]** で入力します。
  - ⑤ **[△]/[▽]** で **設定完了** を選び、**[決定]** を押します。

## 接続テスト

通信設定が正しいかテストします。テストが終わると「接続テスト結果」画面が表示され、「インターネットに接続できました。」と表示された場合は **[終了]** を押す。

## ネットワーク情報

- **[設定]** を押し、**初期設定** を選択し、**通信設定** を選択し、**ネットワーク情報** を選択して、**[決定]** を押す  
現在利用しているネットワーク情報が表示されます。  
ネットワーク接続の設定によっては、表示されない項目もあります。

# ● 設定メニューについて

本機をご使用いただく上での基本的な設定は、設定メニューを使って設定できます。

## 基本的な操作

設定メニュー中の操作方法は、原則的に以下の操作の組み合わせで行います。

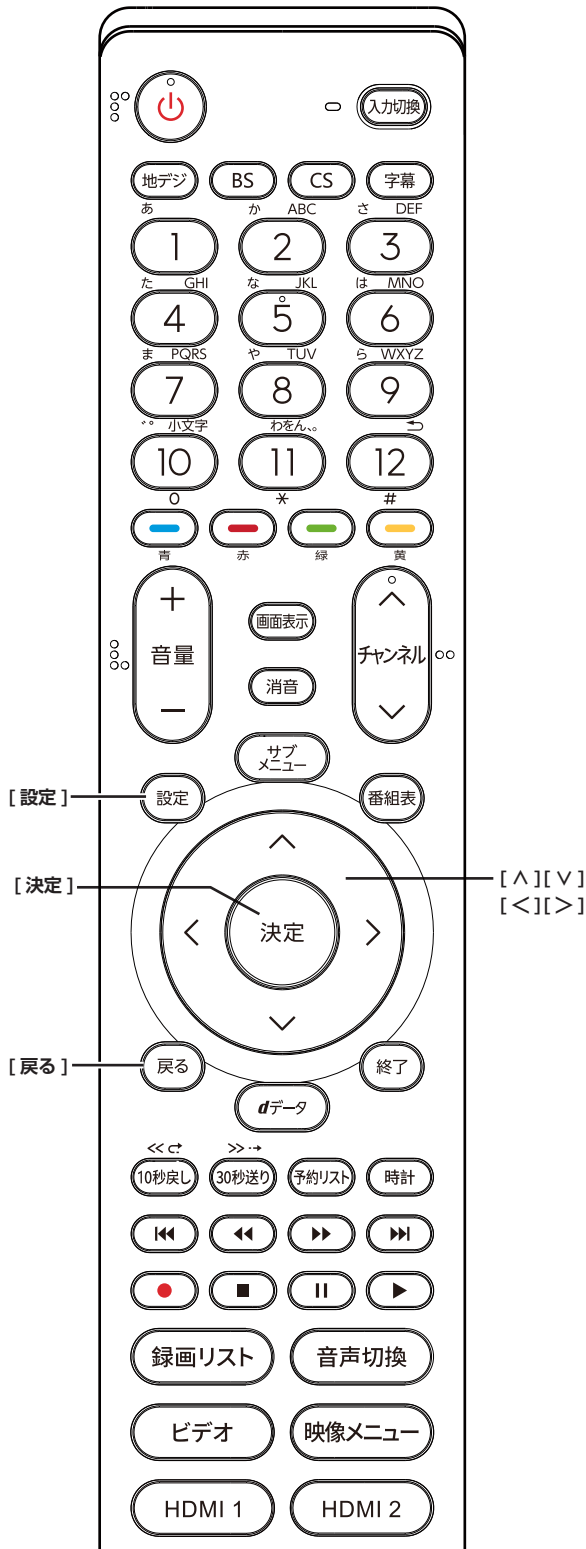
- 1 [設定] を押すと設定メニューが表示される
- 2 [↑]/[↓] を押して項目を選び、[決定] を押す
- 3 [↑]/[↓] または [←]/[→] を押し、項目を選択して、[決定] を押す
- 4 [戻る] を押すと1つ前の画面に戻る  
[終了] を押すと、メニュー表示が消えます。

## お知らせ

- 現在選択されている画面で設定できない項目は薄く表示されます。

## 設定メニュー

設定項目	設定内容	ページ
映像設定	映像に関連する設定をします。	(👉 36 ページ)
音声設定	音声に関連する設定をします。	(👉 37 ページ)
機能設定	省エネ、視聴制限、外部入力の設定をします。	(👉 39 ページ)
外部機器設定	USB ハードディスク設定、録画再生、外部入力・HDMI 連動の設定をします。	(👉 41 ページ)
初期設定	「はじめての設定」や通信設定を行います。	(👉 43 ページ)



### メニュー中の基本操作

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| [設定]            | [決定]                    |
| メニューの表示 / 非表示   | 選択の決定                   |
| [↑]/[↓]/[←]/[→] | [戻る]                    |
| 項目の選択、調整        | 選択・調整を確定し、<br>一つ前の画面に戻る |

# ● 設定メニューから設定をする

## 映像設定

設定項目	切換項目	設定内容
映像メニュー	(☞) 下記 [別表 1]	
映像調整	(☞) 右記 [別表 2]	

### [別表 1] 映像メニュー

設定項目	設定内容
ダイナミック	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
スタンダード	室内で落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です。(日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です)
映画	映画を見るときに適した設定です。(暖か味のある色あいが再現されます)
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です。(HDMI 入力、ビデオ入力の際に選択できます)

### [別表 2] 映像調整

設定項目	切換項目	設定内容
バックライト	00 ~ 100	バックライトの明るさを調整します。
コントラスト	00 ~ 100	お好みに合わせて見やすい明るさに調整します。
黒レベル	- 50 ~ + 50	映像の暗い部分 (黒) の再現性 (明るさ) を調整します。
色の濃さ	- 50 ~ + 50	映像の色の濃さを調整します。
色あい	- 50 ~ + 50	肌の色に注目して、色あいを調整します。
精細感・ノイズ調整	(☞) 37 ページ [別表 3]	
コントラスト感調整	(☞) 37 ページ [別表 4]	
色温度	0 ~ 10	調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。
映像調整を初期値に戻す	はい/いいえ	映像調整の内容を、お買い上げ時の設定に戻します。

### お知らせ

- 映像メニューは、放送 / 再生の映像や各入力端子の映像、信号特性などでそれぞれ記憶させることができます。
- 映像を調整すると、そのときに選択していた「映像メニュー」に調整状態が記憶され、「映像メニュー」の表示に「: メモリー」が加わります。
- 調整状態は、放送 / 再生や各入力端子などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送 / 再生)の「ダイナミック: メモリー」と (HDMI 1) の「ダイナミック: メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。

(次ページへつづく)

## 映像設定 (つづき)

[別表 3] 精細感・ノイズ調整

設定項目	切換項目	設定内容
シャープネス	- 50 ~ + 50	映像の鮮明さを調整します。
MPEG NR	強 / 中 / 弱 / オフ	デジタル放送や DVD などの動きの速い映像のブロックノイズ (モザイク状のノイズ) と、モスキートノイズ (輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ) を減らします。 <b>強 / 中 / 弱:</b> MPEG NR の効果が切り換わります。強くするほどノイズをより抑えます。 <b>オフ:</b> この機能は働きません。
ダイナミック NR	オート / 強 / 中 / 弱 / オフ	映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。映像メニューがゲーム以外のときに設定できます。 <b>オート:</b> 映像の種類に応じて自動的に制御されます。 <b>強 / 中 / 弱:</b> ダイナミック NR の効果が切り換わります。通常はオートに設定してください。効果を強くすると残像が目立つことがあります。
ファインシネマ	オン / オフ	オンにすると、映画ソフト (フィルム映像) のもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。

### お知らせ

- 視聴する映像の種類および映像メニューの設定によっては調整や設定ができない項目があります。
- MPEG NR、ダイナミック NR、ファインシネマは映像メニューがゲーム以外のときに設定できます。


[別表 4] コントラスト感調整

設定項目	切換項目	設定内容
ヒストグラムバックライト制御	オン / オフ	オンにすると映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。
オートガンマ	00 ~ 10	映像のコントラストを自動的に調整します。数値が大きいほどコントラストを強調します。
ガンマ調整	- 4 ~ + 4	映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

### お知らせ

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

## 音声設定

設定項目	切換項目	設定内容
高音	- 20 ~ + 20	高音の強さを調整します。
低音	- 20 ~ + 20	低音の強さを調整します。
バランス	左 20 ~ 中央 ~ 20 右	スピーカー、ヘッドホンの左右の音量バランスを調整します。
デジタル音声出力	PCM / デジタルスルー / サラウンド優先	光デジタル音声出力端子から出力する音声信号の設定です。 <b>PCM:</b> 常にリニア PCM 信号が出力されます。オーディオ機器がリニア PCM 信号だけに対応している場合は、この設定にします。 <b>デジタルスルー:</b> AAC (ビットスルー) がそのまま出力されます。 <b>サラウンド優先:</b> コンテンツの音声信号がサラウンド音声 (5.1ch や 4.1ch サラウンド音声など) の場合にそれらの信号が出力されます。それ以外の場合はリニア PCM 信号が出力されます。オーディオ機器が AAC のサラウンド音声に対応している場合は、この設定にすることでサラウンド音声を楽しめます。
デジタル音声出力タイミング	- 3 ~ 0	光デジタル音声出力端子と HDMI 入力 1 (ARC) 端子から出力するデジタル音声信号のタイミングを設定することができます。数値が小さくなるほど、音声を出力するタイミングが早くなります。
ヘッドホン / 音声出力設定	 38 ページ [別表 5]	

### お知らせ

- 非対応の音声フォーマットを対応と通知してくる ARC 対応機器もあります。その場合、非対応音声フォーマットの再生中は音が出なくなります。
- 本機から出力されるデジタル音声は、デジタル音声出力設定を PCM 以外に設定するとコンテンツによってはオーディオ機器 (AV アンプなど) で正常に再生できない形式があります。



## 設定メニューから設定をする (つづき)

[別表5] ヘッドホン／音声出力設定

設定項目	切換項目	設定内容
出力設定	ヘッドホン/ 外部スピーカー	<p>ヘッドホン／音声出力端子に接続する機器にあわせて設定します。</p> <p>※ ヘッドホンで聴くときは、必ず<b>ヘッドホン</b>に設定してください。</p> <p><b>ヘッドホン：</b> 音声出力端子にヘッドホンを接続する場合に選択します。</p> <p><b>外部スピーカー：</b> 音声出力端子に AV アンプやミニコンポなどを接続する場合に選択します。</p>
ヘッドホンモード (出力設定でヘッドホンを選んだときに設定できます。)	通常モード/ 音声同時出力モード	<p><b>通常モード：</b> 音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからの音が消え、ヘッドホンから音が聞こえます。</p> <p><b>音声同時出力モード：</b> 音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音が聞こえます。</p>
外部スピーカー出力設定 (出力設定で外部スピーカーを選んだときに設定できます。)	固定 / 可変	<p><b>固定：</b> 音声出力端子から一定の音量レベルで音声が出力されます。外部接続機器で音量を調節してください。</p> <p><b>可変：</b> 音声出力端子からの音量を本機のリモコンで調節することができます。</p>

## 機能設定

設定項目	切換項目	設定内容
省エネ設定	(☞ 下記 [別表 6])	
視聴制限設定	放送視聴制限設定 / 暗証番号設定 / 暗証番号削除	(☞ 右記 [別表 7])
外部入力設定	外部入力設定	(☞ 40 ページ [別表 8])

### [別表 6] 省エネ設定]

設定項目	切換項目	設定内容
節電モード	標準 / 減 1 / 減 2	液晶画面のバックライトの明るさを抑えることで本機の節電ができます。 <b>標準:</b> 標準の明るさです。 <b>減 1:</b> 画面の明るさを「標準」よりも抑えて、節電します。 <b>減 2:</b> 画面の明るさを「減 1」よりも抑えて、さらに節電します。
番組情報取得設定	取得する / 取得しない	番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、 <b>取得する</b> で使用することをおすすめします。 <b>取得する:</b> 電源が「待機」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。 <b>取得しない:</b> 番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりすることがあります。
無操作自動電源オフ	待機にする / 動作しない	<b>待機にする:</b> 本機の無操作状態が約 3 時間続くと、電源が「待機」になります。 <b>動作しない:</b> テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

### [別表 6] 省エネ設定] (つづき)

設定項目	切換項目	設定内容
オンエアー無信号オフ	待機にする / 動作しない	外部入力を選んでいるときは機能しません。 <b>待機にする:</b> 放送受信時に、無信号状態が約 15 分間続くと、電源が「待機」になります。 <b>動作しない:</b> 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。
外部入力無信号オフ	待機にする / 動作しない	<b>待機にする:</b> 外部入力選択時に、無信号状態が約 15 分間続くと、電源が「待機」になります。 <b>動作しない:</b> 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

### [別表 7] 視聴制限設定

設定項目	切換項目	設定内容
放送視聴制限設定	4 歳 ~ 20 歳 (制限しない)	暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。
暗証番号設定	—	使用したい暗証番号を数字 4 桁で入力します。変更する場合は現在の暗証番号を先に入力します。
暗証番号削除	—	削除したい暗証番号を数字 4 桁で入力します。





# 設定メニューから設定をする (つづき)

[別表 8] 外部入力設定

設定項目	切換項目	設定内容
外部入力表示設定	ブルーレイ / DVD / VTR / CATV / ゲーム / チューナー / PC / ムービーカメラ / 表示しない	入力切換をしたときに表示される機器の名称 (ブルーレイ、DVD など) を変更することができます。(外部入力端子毎に設定できます。)
外部入力スキップ設定	する / しない	入力切換をするときに、使っていない入力を自動でスキップする (飛び越す) ことができます。飛ばしたい入力を選択して、 <b>[決定]</b> を押します。続けて操作ができます。(外部入力端子毎に設定できます。)
RGB レンジ設定	オート / フルレンジ / リミテッドレンジ	本機に HDMI 入力の RGB レンジを自動識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定します。(HDMI 入力端子毎に設定できます。) <b>オート:</b> 自動切換になります。 <b>フルレンジ:</b> RGB レンジが 0 ~ 255 の機器の場合に選びます。 <b>リミテッドレンジ:</b> RGB レンジが 16 ~ 235 の機器の場合に選びます。
ビデオ音声入力設定	ビデオ音声 / HDMI2 / アナログ音声	HDMI 入力 2 端子に接続した機器からの音声を本機から出したいときに、ビデオ入力の音声入力端子を HDMI 入力 2 のアナログ音声入力端子として使用するように設定できます。 <b>ビデオ音声:</b> ビデオ入力の音声入力端子として使用します。(お買い上げ時の設定) <b>HDMI2 アナログ音声:</b> HDMI 入力 2 のアナログ音声入力端子として使用します。

## 外部機器設定

設定項目	切換項目	設定内容
USB ハードディスク設定	(☞ 下記 [別表 9])	
録画再生設定	(☞ 右記 [別表 10])	
HDMI 連動設定	(☞ 42 ページ [別表 12])	

### [別表 9] USB ハードディスク設定

設定項目	切換項目	設定内容
機器の登録	—	録画用機器の一覧が表示されます。[赤]を押すと選択した機器の登録解除ができます。また[決定]を押すと接続中の機器の登録名変更ができます。
省エネ設定	オン/オフ	<b>オン:</b> USB ハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。 <b>オフ:</b> 本機の電源が「入」のとき、USB ハードディスクの電源は常時「入」の状態です。
機器の取りはずし	—	USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときに行います。 (☞ 15 ページ)
動作テスト	—	USB ハードディスクが正しく動作するかテストをします。 (☞ 16 ページ)
録画番組の修復	—	再生できない録画番組の修復を試みます。 (☞ 26 ページ)
機器の初期化	—	USB ハードディスクの情報をすべて削除し初期化します。 (☞ 16 ページ)

### お知らせ

- 正常に使用できなくなった USB ハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになることがあります。

### [別表 10] 録画再生設定

設定項目	切換項目	設定内容
録画基本設定	(☞ 下記 [別表 11])	
ワンタッチスキップ設定	5秒 / 10秒 / 30秒 / 90秒 / 5分	先に飛ばす時間を調整します。
ワンタッチリプレイ設定	5秒 / 10秒 / 30秒 / 90秒 / 5分	前に戻す時間を調整します。

### [別表 11] 録画基本設定

設定項目	切換項目	設定内容
録画先	—	<b>録画先:</b> 複数の USB ハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。 (☞ 14 ページ)
マジックチャプター設定:	本編 / 音楽 / 本編と音楽 / オフ	シーンの変わり目でチャプター分割 (章分け) されるように設定できます。(チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります) <b>本編:</b> 本編と CM の間でチャプター分割されます。 <b>音楽:</b> 楽曲の前後でチャプター分割されます。 <b>本編と音楽:</b> 上記の両条件でチャプター分割されます。 <b>オフ:</b> チャプター分割をしません。 (☞ 17 ページ)



## 設定メニューから設定をする (つづき)

[別表 12] HDMI 連動設定

設定項目	切換項目	設定内容
HDMI 連動機能	使用する / 使用しない	本機のリモコンで HDMI 連動機器操作、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。
リモコン動作モード	テレビ優先 / 連動機器優先	本機からの操作に対応した HDMI 連動対応機器を接続している場合、 <b>連動機器優先</b> に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。
連動機器→テレビ入力切換	連動する / 連動しない	連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。
連動機器→テレビ電源	連動する / 連動しない	連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。この機能と、 <b>連動機器→テレビ入力切換を連動する</b> に設定しておく、と、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。
テレビ→連動機器電源オフ	連動する / 連動しない	本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です。(録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならないことがあります) 本機の <b>省エネ設定</b> や <b>アラーム</b> とも連動します。
サウンドシステム連動	使用する / 使用しない	<b>使用する</b> に設定すると、HDMI 連動対応のオーディオ機器とそのスピーカーを接続している場合、本機のリモコンで以下のことができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声をテレビから出すか、オーディオ機器のスピーカーから出すかの切換</li> <li>・オーディオ機器の音量調節や消音</li> </ul>

[別表 12] HDMI 連動設定 (つづき)

設定項目	切換項目	設定内容
優先スピーカー	テレビスピーカー / サウンドシステム	本機の電源オン時に優先するスピーカーを選択します。 <b>サウンドシステムスピーカーを連動する</b> に設定した場合に設定できません。 <b>テレビスピーカー:</b> 本機のスピーカーから音声が出ます。 <b>サウンドシステム:</b> オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。サブメニューでスピーカーを一時的に切り換えることもできます。

## 初期設定

設定項目	切換項目	設定内容
はじめての設定	—	引越などで、はじめての設定をし直すときなどに設定します。 (☞ 35 ページ)
アンテナ設定	(☞ 下記 [別表 13])	
チャンネル設定	(☞ 右記 [別表 14])	
データ放送設定	郵便番号と地域の設定 / 文字スーパー表示設定	● お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。 ● はじめての設定で設定した状態から変更したいときに設定します。
通信設定	(☞ 44 ページ [別表 15])	
B-CAS カードの確認	—	B-CAS カードの状態や ID 番号などをテレビ画面で確認することができます。
ソフトウェアのダウンロード	(☞ 44 ページ [別表 16])	
設定の初期化	はい / いいえ	はいを選択すると、すべての情報をお買い上げ時の状態に戻し、個人情報を消去します。本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にだけ行ってください。

### [別表 13] アンテナ設定

設定項目	切換項目	設定内容
地上デジタルアンテナレベル	—	地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選び、現在の数値が推奨の範囲に入っているか確認します。
BS・110度CSアンテナレベル	—	BS・110度CS放送で確認したいチャンネルを選び、現在の数値が推奨の範囲に入っているか確認します。
BS・110度CSアンテナ電源供給	供給する / 供給しない	マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、 <b>供給しない</b> に設定します。

### [別表 14] チャンネル設定

設定項目	切換項目	設定内容
地上デジタル自動設定	初期スキャン / 再スキャン / 自動スキャン	<b>初期スキャン：</b> 「はじめての設定」の「①地上デジタルチャンネル設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。 <b>再スキャン：</b> 放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。 <b>自動スキャン：</b> するにすると、本機の電源が「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。
チャンネルボタン設定	地上デジタル / BS グループ A / BS グループ B / 110度CS	お好みで、リモコンのワンタッチ選局ボタン [1] ~ [12]) で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。 変更したいチャンネルを選択して、[決定] を押します。新しいチャンネルを選択して、[決定] を押します。
チャンネルスキップ設定	地上デジタル / BS / 110度CS	[チャンネルへ] / [チャンネル▽] で選局するときに、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。飛ばしたいチャンネルを選択して、[決定] を押します。続けて操作ができます。
チャンネル設定の初期化	はい / いいえ	はいを選択すると、すべてのチャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻します。

#### お知らせ

- 初期スキャン、再スキャンをするとき、操作の途中で「データ放送用メモリーの割り当て画面」が表示される場合があります。この場合、メモリーを割り当てたい放送局を9つ選択します。(☞取扱説明書 47 ページ)



## 設定メニューから設定をする (つづき)

[別表 15] 通信設定

設定項目	切換項目	設定内容
IP アドレス 設定	自動取得 手動設定	インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。 <b>する</b> を選択すると「自動取得」と表示されます。 <b>しない</b> を選択すると「手動設定」と表示されます。 (☞ 33 ページ)
DNS 設定	自動取得 手動設定	ドメイン名を IP アドレスに置き換える機能を持ち、IP アドレスで特定されている DNS サーバーを設定します。 <b>する</b> を選択すると「自動取得」と表示されます。 <b>しない</b> を選択すると「手動設定」と表示されます。 (☞ 33 ページ)
プロキシ設定	使用する / 使用しない	インターネットとの接続時にプロキシ (代理) サーバーを経由する場合に設定します。ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。 「する」を選択した場合、サーバー名とポート番号を設定できます。 (☞ 34 ページ)
接続テスト	—	インターネットに接続されているかテストをします。
ネットワーク 情報	—	ネットワークの情報を表示します。

[別表 16] ソフトウェアのダウンロード

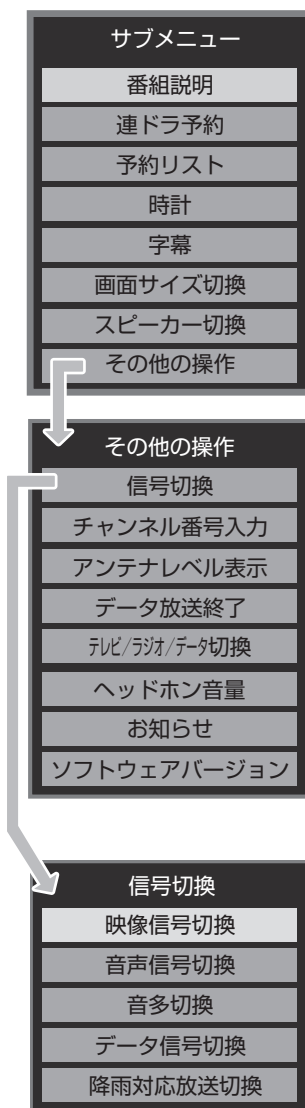
設定項目	切換項目	設定内容
放送からの自動 ダウンロード	する / しない	<b>する：</b> 常に最新のソフトウェアで 사용할 ことが でき ます。更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送または BS デジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します。 (情報を確認する操作はありません) ご使用の環境に合わせてソフトウェアの更新を行います。更新用ソフトウェアの自動ダウンロードと自動更新は、本機の電源が「待機」(リモコンで電源を切った状態)のときに、放送電波で行われます。 <b>しない：</b> 放送からの自動ダウンロードを行いません。
ソフトウェア バージョン	—	本機のソフトウェアのバージョンを表示します。

# ● サブメニューについて

- [サブメニュー] を押してサブメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- サブメニューの内容は、[サブメニュー] を押すときの、使用状況によって変わります。

## 【表示例】

デジタル放送のテレビ番組を  
視聴中



## サブメニュー

設定項目	内容	ページ
番組説明	視聴中の番組の詳しい情報を確認できます。	(👉 6 ページ)
連ドラ予約	視聴中の連続ドラマが毎回録画されるように予約することができます。	(👉 19 ページ)
予約リスト	予約リストを表示します。	(👉 21 ページ)
時計	時計表示やアラーム設定／オフタイマーの設定ができます。	(👉 2 ページ)
字幕	字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。	(👉 10 ページ)
画面サイズ切換	見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。	(👉 10 ページ)
スピーカー切換	本機のスピーカーで聴くか外部システムのスピーカーで聴くか選べます。	(👉 38 ページ)
<b>その他の操作</b>		
チャンネル番号入力	チャンネル番号を入力して選局します。	(👉 4 ページ)
アンテナレベル表示	映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認できます。	取扱説明書 (👉 23～24 ページ)
データ放送終了	データ放送の視聴を終了します。	(👉 7 ページ)
テレビ／ラジオ／データ切換	視聴する放送メディアを切り換えます。	(👉 6 ページ)
ヘッドホン音量	ヘッドホンモードが音声同時出力モードのとき、音量の調整ができます。	(👉 38 ページ)
お知らせ	本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。	(👉 49 ページ)
ソフトウェアバージョン	本機のソフトウェアバージョンを確認します。	(👉 44 ページ)
<b>信号切換</b>		
映像信号切換	一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。	(👉 11 ページ)
音声信号切換	一つの番組で複数の音声を送られている場合に切り換えられます。	(👉 11 ページ)
音多切換	二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。	(👉 11 ページ)
データ信号切換	一つの番組で複数のデータが送られている場合に切り換えられます。	(👉 11 ページ)
降雨対応放送切換	豪雨などの影響で降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。	(👉 11 ページ)

# ● 故障かな？と思ったら

## お問い合わせの前に

### まず、以下の点をご確認ください

- ・アンテナ線や電源コード、その他の接続
- ・入力切替の設定

### 以下の状態は故障ではありません

#### 本機内部からの動作音

電源待機時に番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

#### ときどき「ピシッ」というきしみ音が出る

周囲との温度差によってキャビネットがわずかに伸縮するために起こる音です。故障ではなく、性能などにおよぼす悪影響もありません。

#### 豪雨や豪雪のときに、映像が乱れたり、まったく映らなくなったりする

衛星放送のアンテナは、比較的天候の影響を受けやすいため、豪雨や豪雪の際は受信感度が落ちることがあります。受信する地域が晴れていても、放映している地域の天候が悪いと、映りが悪くなることがあります。

### 使用していないのに温まる

使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

### テレビが操作できなくなったとき →テレビをリセットする

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 1分以上待つ
- 3 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる

### 本体の電源ボタンを長押ししてリセットする

- 1 テレビ本体の電源ボタンを4秒以上押し続ける
- 2 本体下面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す  
しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

## 原因と解決法

### 操作

#### ●電源が入らない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込みます。	—
電源コードが本体から抜けていませんか。	電源コードのコネクターを本機背面の AC INPUT 端子に接続します。	取扱説明書 26 ページ
「電源」表示が消えていませんか。	本体の電源ボタンを押して電源を入れます。 ※「電源」表示が消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。	取扱説明書 12 ページ
「電源」表示が赤色に点滅していますか。	電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	—

## 操作（つづき）

### ●リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。	障害物を取り除きます。	取扱説明書 17 ページ
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池に交換します。	取扱説明書 17 ページ
リモコンの乾電池の向き（+、-）が合っていますか。	向き（+、-）を確認し、正しく入れてください。	取扱説明書 17 ページ

## 映像

### ●放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	取扱説明書 23～24 ページ
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	確認して、まっすぐにします。（折らないようにご注意ください）	—
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなったりしていませんか。	アンテナ線を交換します。	—
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。アンテナ線を分配して接続します。	—
電波が弱くありませんか。	アンテナレベルを確認します。	取扱説明書 23～24 ページ
	アンテナの向きを調整してみます。（販売店にご相談ください）	
アンテナ線の差し込みがゆるんでいたり、接触不良になっていたりしていませんか。	確認して、しっかりと接続します。	—
アンテナ線（端子）がさびていませんか。	販売店にご相談ください。	—

### ●接続した機器の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
機器が正しく接続されていますか。	確認して正しく接続します。	取扱説明書 27～32 ページ
機器の電源がはいっていますか。	接続した機器の本体の電源ボタンを押して電源を入れます。	—
接続した機器の入力に切り換えましたか。	リモコンの【入力切換】で、外部機器を接続した入力端子を選びます。	30 ページ

### ●画面が暗い、または暗くなる時がある

確認すること	解決法・その他	参照ページ
部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。	明るい部屋では、 <b>ダイナミック</b> を選択してみます。	10 ページ
	<b>バックライト</b> で適切な明るさに調整します。	36 ページ

### ●色がおかしい

確認すること	解決法・その他	参照ページ
お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。	視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 お好みの映像に調整することもできます。	36 ページ



# 故障かな？と思ったら (つづき)

## 音声

### ●音が出ない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
音量が最小になっていませんか。	[音量+] で音量を上げます。	2 ページ
画面に「消音」マークが表示されていませんか。	[消音] または [音量+]/[音量-] で、消音を解除できます。	2 ページ
外部スピーカーになっていませんか。	サブメニューのスピーカー切替でテレビスピーカーに設定します	45 ページ

## 地上デジタル放送

### ●地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる、または引越しをしたら地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	参照ページ
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	サブメニューのその他の操作のアンテナレベル表示でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	45 ページ
初期スキャンをしましたか。	初期スキャンをします。	43 ページ
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	一般社団法人 放送サービス高度化推進協会のホームページ ( <a href="http://www.apab.or.jp/">http://www.apab.or.jp/</a> ) で確認することもできます。	-
共聴システムや CATV をご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	CATV の場合はご契約の CATV 会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。(CATV がパススルー方式でない場合は CATV 用チューナーが必要な場合があります)	-

## BS・110度CS デジタル放送

### ●BS・110度CS デジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	参照ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	取扱説明書 19 ページ
有料放送ではありませんか。	有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。	-
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機の BS・110 度 CS アンテナ入力端子に直接接続してみます。(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ) BS・110 度 CS デジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線を BS・110 度 CS アンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。	取扱説明書 23～24 ページ
テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、Wi-Fi 機器(アクセスポイントを含む)などの無線機器を使用していませんか。	左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。	-
BS・110 度 CS アンテナ電源供給設定が供給しないに設定されていませんか。	BS・110 度 CS 共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、BS・110 度 CS 共用アンテナへの電源供給が必要となります。 <b>BS・110 度 CS アンテナ電源供給が供給する</b> に設定されていることを確認してください。 ※ アンテナショートを検出した場合、設定を自動的に供給しないに変更する場合があります。	43 ページ

## 番組表

### ●番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
電源プラグを抜いていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。	—
	番組情報の取得の操作をします。	8 ページ

### ●番組表の文字が小さい

確認すること	解決法・その他	参照ページ
—	番組表を表示中に [ 赤 ] を押して、文字の大きさを変更することができます。	6 ページ

### ●放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
1 チャンネル表示にいませんか。	番組表のサブメニューでマルチ表示を選択します	8 ページ
チャンネルスキップ設定でスキップするに設定していませんか。	チャンネルスキップ設定でしないに設定します。	43 ページ

## お知らせアイコン ⓘ が何度も表示される

確認すること	解決法・その他	参照ページ
「お知らせ」の内容を確認しましたか。	サブメニューの <b>お知らせ</b> で内容を確認します。 ※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、[ 画面表示 ] を押したときにアイコンが表示されます。	45 ページ

## 録画・再生

### ●USB ハードディスクが使用できない（認識されない）

確認すること	解決法・その他	参照ページ
機器が正しく接続されていますか。	「USB ハードディスクの接続をする」に従って、正しく接続します。	取扱説明書 27 ページ
機器の電源がはいっていますか。	USB ハードディスクの電源を入れます。 ※ USB ハードディスクは専用の AC アダプターを接続してご使用ください。	—
機器が本機に登録されていますか。	USB ハードディスクを本機に登録します。	14 ページ
USB ハブを使用している場合、本機で使用できるようになっていますか。	USB ハードディスクは専用の AC アダプターを接続してご使用ください。	取扱説明書 27 ページ

### ●録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	参照ページ
USB ハードディスクの残量が足りていますか。	残量を確認する。	24 ページ
	不要な番組を削除する。	26 ページ
	自動削除設定を削除するに変更する。	27 ページ
コピー禁止の番組ではありませんか。	録画はできません。	—
外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像、ネットワークサービスの映像などではありませんか。	本機は左記の番組や映像の録画には対応していません。	16 ページ
連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。	詳細設定で「追跡キーワード」を正しく設定します。 ※ 1 回限りのキーワード（「第〇〇話」や出演者名など）を削除します。	19 ページ
「お知らせ」のアイコンが表示されていますか。	サブメニューの <b>お知らせ</b> で内容を確認します。 ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。	45 ページ

# 故障かな？と思ったら（つづき）

## 録画・再生

### ●録画した番組が消えた

確認すること	解決法・その他	参照ページ
自動削除設定が削除するになっていませんか。	自動削除設定を削除しないに設定する。	27 ページ
	消したくない番組を保護する。	27 ページ
録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きましたか。	録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。 ※ 左記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。	18 ページ
	録画番組を修復するの操作をすれば、録画された内容を再生できるようになる場合があります。	26 ページ
録画リストの分類タブが「すべて」以外になっていませんか。	録画リストの分類タブを [10 秒戻し]/[30 秒送り] で「すべて」に変更する。 ※ 分類タブが「未視聴」の場合、一度でも再生した録画番組は、リストに表示されません。	23 ページ 24 ページ

## HDMI 連動機能

### ●機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
接続は正しいですか。	HDMI ログ表示のついた規格に合った HDMI ケーブルで正しく接続します。 ※ はじめて HDMI 連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。	取扱説明書 32 ページ
本機と接続機器の設定は正しいですか。	接続機器側の連動設定を確認します。（機器の取扱説明書を参照してください）	42 ページ
	本機の外部機器設定にある HDMI 連動設定を確認します。	

### ●オーディオ機器（サウンドシステム）に接続されているスピーカーから音が出ない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
接続は正しいですか。	HDMI ケーブルで接続する場合は、HDMI ログ表示のついた規格に合った HDMI ケーブルで正しく接続します。接続するオーディオ機器の端子については、オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。	取扱説明書 32 ページ
	ARC 対応のオーディオ機器は HDMI 入力 1 (ARC) 端子に接続してください。	取扱説明書 31 ページ
接続機器側の設定は正しいですか。	オーディオ機器側の連動設定を確認します。（機器の取扱説明書を参照してください）	—
本機の設定やスピーカーの選択は正しいですか。	HDMI 連動設定のサウンドシステム連動を使用するに設定します。また、HDMI 連動設定の優先スピーカーをサウンドシステムスピーカーに設定しておく、オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。	42 ページ
	サブメニューのスピーカー切替でサウンドシステムスピーカーに切り換えます。	45 ページ

# ● エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

## 全般

確認すること	考えられる原因など	対処のしかた・その他	参照ページ
「電波の受信状態が良くありません。 [サブメニュー] から「降雨対応放送」に切り換えられます。コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	降雨対応放送に切り換えることができません。	45 ページ
「アンテナ接続か受信環境に問題があるためご覧になりません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。青ボタンでアンテナレベルを確認してください コード：E202」	アンテナが放送に適合していない。	放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。	取扱説明書 19 ページ
	アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。	アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します。(販売店にご相談ください)	—
	BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。	BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。	取扱説明書 24 ページ
	アンテナの方向ずれや故障。	アンテナの状態や接続を確認します。(販売店にご相談ください)	取扱説明書 24 ページ
	電波が弱くて視聴できない。 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。	—	—
「現在放送されていません。 コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	—
「該当するチャンネルはありません。 コード：E204」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などで放送時間を確認します。	—
「B-CASカードが挿入されていません。 カードを挿入している場合には向きと裏表を確認して、もう一度奥まで入れ直してください。」	miniB-CASカードが挿入されていない。	miniB-CASカードを正しく挿入します。	取扱説明書 22 ページ
	miniB-CASカードが正しく挿入されていない。		
	miniB-CASカードが抜けている。		
「B-CASカードが認識できません。 カードの金属端子部に汚れがある場合には、きれいな柔らかい布で汚れをふき取ってください。」 または 「このB-CASカードはご使用になれません。カードをご確認ください。」	miniB-CASカードが接触不良を起こしている。	miniB-CASカードを取り出し、金色端子部に汚れがないか確認し、乾いた布でふき取り、もう一度入れます。	取扱説明書 22 ページ
	無効な miniB-CASカードが挿入されている。	付属の miniB-CASカードの所有権は、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にあります。	—
	miniB-CASカードが破損している。	認識しないなど、破損した場合の再発行については、付属の miniB-CASカード台紙の記載されている、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にお問い合わせください。	



## エラーメッセージが表示されたとき (つづき)

### USB ハードディスクに関するエラー表示

確認すること	考えられる原因など	対処のしかた・その他	参照ページ
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認します。	—
	USB ハードディスクの電源が切れている。	USB ハードディスクの電源を入れます。	—
	USB ハードディスクにエラーが発生した。	USB ハードディスクの電源を入れ直してみます。	—
「再生できません。」	視聴制限のある番組を録画した。	<b>視聴制限設定</b> で録画した番組を視聴できる設定にします。	39 ページ
	録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。	再生できません。	—
	再生時にテレビと USB ハードディスクと通信に障害があった。または、接続ケーブルがはずれてしまった。	テレビと USB ハードディスクの電源を入れ直してみます。また、接続を確認します。	—
「録画機器のエラーにより録画を中止しました。」	テレビと USB ハードディスクと通信に障害があった。	テレビと USB ハードディスクの電源を入れ直してみます。	—
「コンテンツ情報取得中にエラーが発生しました。」	録画した番組が正常に保存されなかった。	<b>録画番組を修復する</b> の操作をしてみます。	26 ページ
「USB 端子の電源容量を超えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USB バスパワーで動作する USB ハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	以下の手順で復帰させます。 ① 本体の電源ボタンで電源を切る ② USB ハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約 10 秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USB ハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USB ハードディスクに AC アダプターを接続してください。	—

### サポートセンター

フリーダイヤル：0120-835-111

受付時間：365日 9:00～18:00

FAX：0570-06-1117(有料)

メールフォーム：<https://www.hisense.co.jp/contact/>

### ハイセンスジャパン株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号

<https://www.hisense.co.jp>

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載、コピーすることは禁止されております。

© Hisense Japan Corporation